

6.2 平成 24 年度における数量的目標を含まない具体的細目措置の取組状況

(1) 政府の実行計画の実施状況調査（政府全体）

政府の実行計画の実施状況調査票集計結果 (措置目標以外の取組に関する調査)

1. 調査対象機関に関する調査

(1) 対象機関の就業人数	381068 人
(2) 延床面積・施設数	合計 15960544 m ² 合計 10747 施設

※加重平均タイプは以下の通り

- A：就業人数
- B：延床面積
- C：公用車台数
- D：一般公用車台数
- E：一般公用車以外台数
- F：施設数

2.1 財やサービスの購入・使用に当たっての配慮

			よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計			
										台数	サンプル数	
(1) 低公害車の導入	1) 一般公用車について、低公害車比率100%を維持している。	加重平均タイプ (構成比)	(4%)	(73%)	(17%)	(2%)	(1%)	(3%)	D			
	2) 一般公用車以外の公用車について、数値目標を掲げて低公害車化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(15%)	(15%)	(15%)	(25%)	(9%)	(21%)	E			
	3) 燃料電池自動車について率先導入している。	加重平均タイプ (構成比)	(1%)	(1%)	(2%)	(70%)	(3%)	(23%)	C			
	4) 車の買換えに当たっては、使用実態を踏まえ必要最小限度の大きさの車を選択する等、より温室効果ガスの排出の少ない車の導入を進め、当該車の優先的利用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(50%)	(22%)	(2%)	(1%)	(5%)	(19%)	C			
(2) 自動車の効率的利用	1) 公用車等の効率的利用等	①車一台ごとや燃料設備ごとの走行距離、燃費等を把握するなど燃料使用量の調査をきめ細かく行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(61%)	(31%)	(5%)	(3%)	(0%)	(0%)	C		
		②アイドリング・ストップ装置の活用などにより、待機時のエンジン停止の励行、不要なアイドリングの中止等の環境に配慮した運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(39%)	(14%)	(9%)	(1%)	(2%)	C		
		③有料道路を利用する公用車について、ETC車載器を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(86%)	(9%)	(0%)	(2%)	(0%)	(3%)	C		
		④3メディア対応型の道路交通情報通信システム(VICS)対応車載機を積極的に活用している。	加重平均タイプ (構成比)	(33%)	(23%)	(13%)	(25%)	(2%)	(5%)	C		
		⑤タイヤ空気圧調整等の定期的な車両の点検・整備の励行を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(82%)	(16%)	(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	C		
		⑥夏期におけるカーエアコンの設定温度を1度アップしている。	加重平均タイプ (構成比)	(22%)	(31%)	(28%)	(12%)	(7%)	(1%)	C		
		⑦ガソリンを満タンにしない。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(11%)	(38%)	(39%)	(2%)	(1%)	C		
		⑧通勤時や業務時の移動において、鉄道、バス等公共交通機関の利用を推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(47%)	(29%)	(15%)	(7%)	(1%)	(2%)	A		
		⑨震が関地域において、毎月第一月曜日は、公用車の使用を終日自粛するものとし、移動手段は徒歩、自転車又は公共交通機関によるものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(6%)	(2%)	(4%)	(2%)	(1%)	(85%)	A		
		⑩タクシー券の適切な管理の一層の徹底を図り、不要不急のタクシー利用を抑制している。	加重平均タイプ (構成比)	(54%)	(2%)	(0%)	(0%)	(1%)	(43%)	A		
	⑪来庁者に対しても低公害車の優先利用、自動車利用の抑制や効率化を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(11%)	(9%)	(29%)	(45%)	(2%)	(4%)	A			
2) 公用車の台数の見直し	①使用実態を精査し、公用車台数の見直しを行い、その削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(57%)	(24%)	(4%)	(6%)	(3%)	(6%)	C	台数	サンプル数	
(3) 自転車の活用	1) 「震が関自転車利用システム」(平成11年2月)のさらなる活用など、震ヶ関及び地方支分部局等の所在地における自転車の共同利用を一層推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(13%)	(5%)	(4%)	(13%)	(2%)	(64%)	A	2,358	283	
										台		

注) 留意事項

- (i) 本調査について、各府省の機関ごとに入力した調査票ファイルの総数は2,460である。
- (ii) 上記ファイルの総数の内、設問ごとに無回答であった調査票を除いた有効ファイルを用い、回答数を就業人数、面積などで加重平均して実施状況ごとの「構成比」を把握している。
- (iii) 重み付け方法は、設問ごとの「加重平均タイプ」でA~Fのアルファベットで示している。

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計										
(4) エネルギー消費効率の高い機器の導入	①パソコン、ワープロ、コピー機等のOA機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(36%)	(10%)	(3%)	(4%)	(6%)	(100%)	B									
	②電気冷蔵庫、ルームエアコン等の家電製品について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (34%)	(34%)	(15%)	(7%)	(3%)	(7%)	(100%)	B									
	③蛍光灯等の照明器具等の機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (36%)	(39%)	(14%)	(5%)	(2%)	(4%)	(100%)	B									
	④省エネルギー型の照明ランプを導入している。	<直管型照明器具> 1) Hf型蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(18%)	(12%)	(21%)	(24%)	(14%)	(100%)	B	導入(残存)割合	0%	~30%	~50%	~80%	~100%未満	100%	計
		<直管型照明器具> 2) LED	加重平均タイプ (構成比) (50%)	(43%)	(3%)	(2%)	(0%)	(0%)	(100%)	B								
		<直管型照明器具> 3) Hf型以外のインバータ付き蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (54%)	(30%)	(5%)	(5%)	(2%)	(3%)	(100%)	B								
		<ダウンライト> 4) 電球型ツイン蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (39%)	(29%)	(9%)	(6%)	(10%)	(7%)	(100%)	B								
		<ダウンライト> 5) LED電球	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(31%)	(5%)	(3%)	(1%)	(2%)	(100%)	B								
		<ダウンライト> 6) 白熱電球(注:残存割合)	加重平均タイプ (構成比) (48%)	(32%)	(4%)	(8%)	(4%)	(4%)	(100%)	B								
		<屋外照明> 7) 水銀灯(注:残存割合)	加重平均タイプ (構成比) (37%)	(26%)	(6%)	(7%)	(9%)	(14%)	(100%)	B								
<屋外照明> 8) メタルハライドランプ		加重平均タイプ (構成比) (61%)	(21%)	(5%)	(4%)	(6%)	(5%)	(100%)	B									
<屋外照明> 9) LED		加重平均タイプ (構成比) (74%)	(18%)	(3%)	(4%)	(0%)	(1%)	(100%)	B									
⑤上記機器について、省エネルギーモード設定の適用等により、使用面での改善を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(40%)	(12%)	(5%)	(7%)	(6%)	(100%)	B										
①節水機器等の導入等	1) 現に使用している水多消費型の機器の廃止又は買換えを計画的に進め、買換えに当たっては、節水型等のものを選択し、またこれらの機器の新規の購入に当たっても同様としている。	加重平均タイプ (構成比) (21%)	(18%)	(19%)	(17%)	(6%)	(18%)	(100%)	B									
(5) 用紙類の使用量の削減	1) コピー用紙、事務用箋、伝票等の用紙類の年間使用量について、各省庁の部局単位など適切な単位で把握し、管理し、削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (45%)	(44%)	(7%)	(2%)	(1%)	(1%)	(100%)	A									
	2) 会議用資料や事務手続の一層の簡素化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (35%)	(54%)	(9%)	(0%)	(2%)	(0%)	(100%)	A									
	3) 各種報告書類の大きさ等の規格の統一を進め、また、そのページ数や部数についても必要最小限の量となるよう見直しを図っている。	加重平均タイプ (構成比) (35%)	(56%)	(6%)	(1%)	(2%)	(0%)	(100%)	A									
	4) 両面印刷・両面コピーの徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (59%)	(37%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A									
	5) 使用済み用紙の裏紙使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (25%)	(40%)	(29%)	(5%)	(0%)	(0%)	(100%)	A									
	6) 使用済み封筒の再利用など、封筒使用の合理化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (32%)	(36%)	(26%)	(5%)	(1%)	(0%)	(100%)	A									
	7) A四判化の徹底による文書の一層のスリム化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(37%)	(2%)	(1%)	(1%)	(0%)	(100%)	A									
	8) 温室効果ガスの排出削減の観点から、ペーパーレスシステムの早期の確立を図るため、電子メール、庁内LANの活用及び文書・資料の磁気媒体保存等電子メディア等の利用による情報システムの整備を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (44%)	(46%)	(8%)	(1%)	(1%)	(1%)	(100%)	A									
(6) 再生紙などの再生品や木材の活用	1) 再生紙の使用等	①購入し、使用するコピー用紙、けい紙・起案用紙、トイレットペーパー等の用紙類については、再生紙の使用を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (90%)	(9%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A									
		②印刷物については、再生紙を使用し、古紙/パルプ配合率を明記するよう努めるとともに、可能な場合においては、市中回収古紙を含む再生紙の使用拡大が図られるような配慮を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (55%)	(23%)	(7%)	(9%)	(4%)	(2%)	(100%)	A								
	2) 木材、再生品等の活用	①購入し、使用する文具類、機器類、制服・作業服等の物品について、再生材料から作られたものを使用している。	加重平均タイプ (構成比) (50%)	(38%)	(5%)	(0%)	(5%)	(2%)	(100%)	A								
		②間伐材、小径材等の木材や未利用繊維等の利用状況の低位な原材料から作られた製品を使用している。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(21%)	(20%)	(6%)	(21%)	(13%)	(100%)	A								
	③初めて使用する原材料から作られた製品を使用する場合には、リサイクルのルートが確立しているものを使用している。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(23%)	(12%)	(11%)	(25%)	(15%)	(100%)	A									
(7) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進等	1) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進	①庁舎等の公共施設の冷蔵庫、空調機器及び公用車のカーエアコンの購入、交換に当たっては、HFCの代替物質を使用した製品の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (40%)	(25%)	(7%)	(4%)	(15%)	(9%)	(100%)	B								
		②HFCを使用している製品を購入・使用する場合には、地球温暖化への影響のより小さい機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (36%)	(27%)	(7%)	(4%)	(15%)	(12%)	(100%)	B								
		③エアプール製品を使用する場合には、安全性に配慮し必要不可欠な用途を除いて、代替物質を使用した非フロン系製品の選択・使用を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (44%)	(22%)	(5%)	(4%)	(14%)	(11%)	(100%)	B								
	2) 電気機械器具からのSF6の回収・破壊等	①庁舎等の公共施設の電気機械器具については、廃棄、整備するに当たって極力SF6の回収・破壊、漏洩の防止を行うよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (28%)	(14%)	(4%)	(5%)	(24%)	(24%)	(100%)	B								

			よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(8) その他	1) その他温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の選択	①物品の調達に当たっては、温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の使用が促進されるよう、製品等の仕様等の事前の確認を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(44)	(34)	(13)	(3)	(6)	(1)	A (100)	
		②環境ラベルや製品の環境情報をまとめたデータベースなどの環境物品等に関する情報について、当該情報の適切性に留意しつつ活用し、温室効果ガスの排出の少ない環境物品等の優先的な調達を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(47)	(34)	(8)	(4)	(7)	(1)	(100)	A (100)
		③資源採取から廃棄までの物品のライフサイクル全体についての温室効果ガスの排出の抑制等を考慮した物品の選択を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(38)	(32)	(11)	(6)	(12)	(2)	(100)	A (100)
		④購入、使用する燃料について、現に使用している燃焼設備で利用可能な場合は、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的に少ないものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(23)	(19)	(9)	(11)	(10)	(27)	(100)	B (100)
		⑤燃焼設備の改修に当たっては、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的により少ない燃料の使用が可能となるよう適切な対応を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(14)	(12)	(9)	(9)	(13)	(43)	(100)	B (100)
		⑥重油を燃料としている設備の更新に当たっては、可能な場合、重油に比べ温室効果ガスの排出の相対的に少ない燃料に変更している。	加重平均タイプ (構成比)	(10)	(6)	(6)	(8)	(9)	(61)	(100)	B (100)
	2) 製品等の長期使用等	①容器包装を利用する場合にあっては、簡略なものとし、当該容器包装の再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(27)	(25)	(8)	(7)	(4)	(29)	(100)	A (100)
		②詰め替え可能な洗剤、文具等を使用している。	加重平均タイプ (構成比)	(64)	(31)	(4)	(0)	(0)	(0)	(100)	A (100)
		③弁当及び飲料容器について、リターンブル容器で販売されるものの購入を進めるとともに、適正な回収ルートを設け、再使用を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(16)	(18)	(9)	(6)	(4)	(47)	(100)	A (100)
		④庁舎内の売店等におけるレジ袋の使用や使い捨ての容器包装による販売の自粛を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(6)	(12)	(7)	(10)	(6)	(59)	(100)	A (100)
		⑤机等の事務用品の不具合、更新を予定していない電気製品等の故障の際には、それらの修繕に努め、再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(70)	(26)	(2)	(0)	(1)	(1)	(100)	A (100)
		⑥部品の交換修理が可能な製品、保守・修理サービス期間の長い製品の使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(59)	(32)	(4)	(1)	(2)	(1)	(100)	A (100)
	3) エネルギーを多く消費する自動販売機の設置等の見直し	①庁舎内の自動販売機の設置実態の精査を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(40)	(26)	(6)	(6)	(4)	(19)	(100)	B (100)
		②庁舎内の自動販売機のエネルギー消費のより少ない機種やオゾン層破壊物質及びHFCを使用しない機器への変更を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(34)	(19)	(9)	(10)	(10)	(17)	(100)	B (100)
		③庁舎内の自動販売機の設置台数の減少など適正な配置を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(41)	(21)	(8)	(8)	(3)	(19)	(100)	B (100)
		④コンビニエンスストアなど庁舎内の売店等における営業時間の短縮など省エネルギー化を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(16)	(12)	(4)	(7)	(1)	(60)	(100)	B (100)
	4) 購入時の過剰包装の見直し	①簡略に包装された商品の選択、購入、また、リサイクルの仕組みが確立している包装材を用いているものの積極的選択を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(22)	(30)	(23)	(6)	(7)	(13)	(100)	A (100)
	5) メタン(C ₂ H ₄)及び一酸化二窒素(N ₂ O)の排出の抑制	①エネルギー供給設備の適正な運転管理を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(46)	(17)	(2)	(0)	(6)	(29)	(100)	B (100)
		②庁舎から排出される生ごみ等については、極力、直接埋立の方法により処理しないよう、分別や再生利用、適正処理を実施するとともに、廃棄物処理業者に対し発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(53)	(15)	(4)	(6)	(4)	(17)	(100)	A (100)
		③水田における水管理方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(98)	(100)	F (100)
		④ほ場における施肥方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(96)	(100)	F (100)
		⑤家畜の飼養管理技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(99)	(100)	F (100)
		⑥家畜排せつ物の適正処理や循環資源としての利用のための技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(98)	(100)	F (100)
		⑦笑気ガス(麻酔剤)の漏出防止等を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(98)	(100)	F (100)

2.2 建築物の建築、管理等に当たっての配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計			
(1) 建築物の建築における省エネルギー対策の徹底	1) 建築物を建築する際には、省エネルギー対策を徹底し、温室効果ガスの排出の抑制に配慮したものととして整備している。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(16%)	(4%)	(1%)	(7%)	(53%)	B (100%)			
	(2) 既存の建築物における省エネルギー対策の徹底	1) 既存の建築物においてエネルギーの使用状況等省エネルギーに係る診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(17%)	(16%)	(40%)	(6%)	(6%)	B (100%)		
		2) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、設備・機器の導入、設備等改修を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(30%)	(23%)	(15%)	(5%)	(8%)	B (100%)		
		3) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、運用改善を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(37%)	(18%)	(9%)	(4%)	(5%)	B (100%)	導入数	サンプル数
		4) 既存の建築物における簡易ESCO診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(1%)	(2%)	(72%)	(9%)	(10%)	B (100%)	270	109
5) <中央官庁庁舎のみ回答> 簡易ESCO診断結果に基づく省エネ改修を実施している。	診断未実施 加重平均タイプ (構成比) (54%)	(17%)	(22%)	(7%)			計 B (100%)				
(3) 温室効果ガスの排出の抑制等に資する建設資材等の選択	1) 建設資材については、再生された又は再生できるものをできる限り使用するとともに、コンクリート塊等の建設廃材、スラグ、廃ガラス等を路盤材、タイル等の原材料の一部として再生利用を図り、また支障のない限り混合セメントの利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(19%)	(9%)	(6%)	(18%)	(34%)	B (100%)			
	2) 断熱性能向上のため、屋根、外壁等への断熱材の使用や、断熱サッシ・ドア等の断熱性の高い建具の使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(21%)	(16%)	(9%)	(15%)	(26%)	B (100%)			
	3) 建築物の断熱性能に大きな影響を及ぼす窓について、複層ガラスや二重窓、遮光フィルム、窓の外部のひさしやブラインドシャッターの導入など、断熱性能の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (29%)	(32%)	(13%)	(4%)	(5%)	(16%)	B (100%)			
	4) 建築物の建築等に当たっては支障のない限り再生産可能な資源である木材の利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (7%)	(10%)	(13%)	(12%)	(14%)	(43%)	B (100%)			
	5) 安全性、経済性、エネルギー効率、断熱性能等に留意しつつ、利用可能である場合には、HFCを使用しない建設資材の利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(10%)	(7%)	(9%)	(23%)	(36%)	B (100%)			
	6) 損失の少ない受電用変圧器の使用を促進する等設備におけるエネルギー損失の低減を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (18%)	(16%)	(11%)	(13%)	(17%)	(25%)	B (100%)			
	7) 電力負荷平準化に資する蓄熱システム等の導入を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(8%)	(8%)	(37%)	(11%)	(31%)	B (100%)	導入数	サンプル数	
(4) 温室効果ガスの排出の少ない空調設備の導入等	1) 空調設備について、温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図り、また既存の空調設備についても、その更新時に温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (20%)	(11%)	(4%)	(24%)	(13%)	(29%)	B (100%)	過去1年間の新規設置施設数	151 103	
	2) 庁舎に高効率空調機を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(19%)	(16%)	(20%)	(15%)	(15%)	B (100%)	過去1年間に更新した施設数	293 178	
	3) 冷却性能の低下等の異常が認められた場合、冷媒の漏洩の可能性があるため、速やかに補修その他の必要な措置を講じている。	加重平均タイプ (構成比) (47%)	(28%)	(3%)	(3%)	(5%)	(14%)	B (100%)			
(5) 冷暖房の適正な温度管理	1) 庁舎内における冷暖房温度の適正管理（冷房の場合は28度程度、暖房の場合は19度程度）を一層徹底するよう空調設備の適正運転を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (79%)	(17%)	(2%)	(0%)	(0%)	(1%)	B (100%)			
	2) コンピューター室の冷房については、コンピューター性能が確保できる範囲内で可能な限り設定温度を上げる等の適正な運用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (71%)	(15%)	(3%)	(1%)	(1%)	(9%)	B (100%)	導入数	サンプル数	
(6) 新エネルギーの有効利用	1) 庁舎や公務員宿舎に燃料電池を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(1%)	(0%)	(78%)	(2%)	(18%)	B (100%)	導入施設数	16 10	
	2) 庁舎や公務員宿舎に太陽熱利用システムを可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(4%)	(11%)	(63%)	(2%)	(17%)	B (100%)	導入施設数	313 196	
	3) 庁舎や公務員宿舎に木質バイオマス燃料を使用する暖房器具やボイラー等を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(0%)	(1%)	(74%)	(4%)	(20%)	B (100%)	導入施設数	50 18	
	4) 建築物の立地する地域において、地域冷暖房等の事業が計画されている場合には、参加するよう図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(0%)	(1%)	(29%)	(10%)	(57%)	B (100%)	導入施設数	49 32	
	5) 建築物の規模・用途等を検討し、コージェネレーションシステム、廃熱利用等のエネルギー使用の合理化が図られる設備の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(2%)	(0%)	(63%)	(7%)	(24%)	B (100%)	導入施設数	34 16	
(7) 水の有効利用	1) 建築物等における雨水の適切な利用が可能な場合は、雨水の貯留タンク等の雨水利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (9%)	(4%)	(6%)	(53%)	(3%)	(25%)	B (100%)			
	2) 建築物から排出される排水の適切な再利用が可能な場合は、排水再利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (9%)	(5%)	(3%)	(54%)	(4%)	(26%)	B (100%)			
	3) 給水装置等の末端に、必要に応じて、感知式の洗浄弁・自動水栓等節水に有効な器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (32%)	(30%)	(10%)	(18%)	(4%)	(6%)	B (100%)			
	4) 排水再利用・雨水利用設備等の日常の管理の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(9%)	(5%)	(41%)	(4%)	(28%)	B (100%)			

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(8) 太陽光発電の導入及び建物の緑化の整備要領	1) 太陽光発電システム導入状況	表5参照								
	2) 建築物の外壁面の緑化、屋上緑化の実施	表5参照								
	3) 太陽光発電の導入及び建物の緑化に当たっては、施策の効果を有効に発揮できるよう整備するとともに、国民への施策の周知についても考慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(11%)	(15%)	(23%)	(5%)	(33%)	B (100%)	
	4) 太陽光発電の導入については、発電電力量等を表示するなど、効果についての説明が可能となるよう配慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(18%)	(11%)	(7%)	(24%)	(2%)	(38%)	B (100%)	
	5) 建物の緑化については、建物の低層部分への整備を主として行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(6%)	(7%)	(12%)	(30%)	(4%)	(41%)	B (100%)	
	6) 既存庁舎へ整備する場合は、構造体の耐震安全性、積載荷重、整備後のメンテナンス等を考慮している。	加重平均タイプ (構成比)	(18%)	(8%)	(5%)	(14%)	(7%)	(48%)	B (100%)	
(9) その他	1) 温室効果ガスの排出の少ない施工の実施	①建築物の建築等に当たっては支障のない限りエネルギー消費量の少ない建設機械を使用するよう発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(20%)	(10%)	(8%)	(15%)	(9%)	(38%)	B (100%)
		②合板型枠については、一層の効率的・合理的利用や使用削減など施工を合理化する工法の選択を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(9%)	(8%)	(15%)	(12%)	(42%)	B (100%)
		③出入車輛から排出される温室効果ガスの抑制を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(16%)	(10%)	(13%)	(23%)	(10%)	(28%)	B (100%)
		④建設業に係る指定副産物の再生利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比)	(23%)	(10%)	(6%)	(13%)	(11%)	(37%)	B (100%)
		⑤建設業に係る指定副産物の新規用途の開発に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(6%)	(5%)	(19%)	(15%)	(46%)	B (100%)
		⑥建設業者による建設廃棄物等の適正処理を発注者として確認している。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(14%)	(2%)	(4%)	(8%)	(31%)	B (100%)
	2) 建築物の建築等に当たってのその他の環境配慮の実施	①庁舎等の敷地について植栽を施し、緑化を推進するとともに、保水性舗装や散水の実施に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(22%)	(31%)	(20%)	(12%)	(3%)	(12%)	B (100%)
		②樹木の剪定した枝や落葉等は、再生利用し、廃棄物としての排出を削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(10%)	(11%)	(19%)	(42%)	(6%)	(11%)	B (100%)
		③休閑地については緑化に努めるなど適正な維持管理を図り、ごみの不法投棄を防いでいる。	加重平均タイプ (構成比)	(13%)	(13%)	(6%)	(11%)	(3%)	(55%)	B (100%)
		④定格出力が大きく負荷の変動がある動力装置について、インバータ装置の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(15%)	(23%)	(11%)	(11%)	(18%)	(22%)	B (100%)
		⑤エレベーターの運転の高度制御を実施している。	加重平均タイプ (構成比)	(19%)	(15%)	(7%)	(20%)	(9%)	(31%)	B (100%)
		⑥省エネルギー型の照明器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(29%)	(39%)	(17%)	(6%)	(2%)	(7%)	B (100%)
		⑦空調の自動制御設備について、規模・用途に応じて検討、整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(31%)	(27%)	(12%)	(11%)	(6%)	(13%)	B (100%)
		⑧可能な限り反射板の取り付けにより照明の照度の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(19%)	(22%)	(17%)	(25%)	(4%)	(12%)	B (100%)
		⑨屋外照明器具の設置に当たっては、上方光束が小さく省エネルギー性の高い適切な照明機器を選定している。	加重平均タイプ (構成比)	(21%)	(21%)	(18%)	(14%)	(11%)	(16%)	B (100%)
3) 施設や機器の効率的な運用に資する設備の導入	⑩建築物の建築等の設計者が、温室効果ガスの排出抑制技術やノウハウに秀でた者であるかどうかを考慮するなど、技術的能力の審査に基づく選定方法の採用に努め、環境への配慮を重視した企画の提案などの採用を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(5%)	(7%)	(9%)	(23%)	(14%)	(42%)	B (100%)	
	①最大使用電力を設定し、使用電力に応じて警報の発生や一部電力の遮断（防災上必要な部分を除く。）などを行う電力のデマンド監視装置等の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(34%)	(17%)	(11%)	(25%)	(6%)	(7%)	B (100%)	
	②機器の効率的な運用に資するため、機械室の換気運転の室温に応じた制御を可能とする温度センサーや、空調の効率低下を防ぐための室外機への遮光ネットなどの導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(21%)	(21%)	(35%)	(6%)	(8%)	B (100%)	
4) 新しい技術の率先的導入	①民間での導入実績が必ずしも多くない新たな技術を用いた設備等であっても、高いエネルギー効率や優れた温室効果ガス排出抑制効果等を確認できる技術を用いた設備等については、率先的導入に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(1%)	(3%)	(13%)	(55%)	(10%)	(18%)	B (100%)	

2.3 その他の事務・事業にあたっての温室効果ガスの排出の抑制等への配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(1) エネルギー使用量の抑制	2) 庁舎における節水等の推進	①OA機器、家電製品及び照明については、スイッチの適正管理等エネルギー使用量を抑制するよう適切に使用している。	加重平均タイプ (構成比) (62%)	(34%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)	
		②夏季における執務室での服装について、暑さをしのぎやすい軽装、いわゆる「クールビズ」を励行する。また、冬季における執務室の服装について、快適に過ごせるよう適切な服装、いわゆる「ウォーム・ビズ」を励行している。	加重平均タイプ (構成比) (89%)	(9%)	(0%)	(0%)	(0%)	(2%)	(100%)	A
		③冷暖房中の窓、出入口の開放禁止を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (72%)	(23%)	(5%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	B
		④発熱の大きいOA機器類の配置を工夫している。	加重平均タイプ (構成比) (31%)	(34%)	(25%)	(8%)	(2%)	(0%)	(100%)	B
		⑤深夜残業のための点灯時間の縮減及び帰宅時のタクシー利用の削減のため、並びに職員の福利厚生の上昇に係る要請への対応ともあいまって、水曜日の定時退庁の一層の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (53%)	(35%)	(8%)	(2%)	(0%)	(2%)	(100%)	A
		⑥職員の福利厚生の上昇に係る要請への対応ともあいまって、有給休暇の計画的消化の一層の徹底、事務の見直しにより、夜間残業の削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(46%)	(10%)	(1%)	(2%)	(0%)	(100%)	A
		⑦昼休みは、業務上特に照明が必要な箇所を除き消灯を図り、また夜間における照明も、業務上必要最小限の範囲で点灯することとし、それ以外は消灯を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (79%)	(20%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	B
		⑧トイレ、廊下、階段等での自然光の活用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (46%)	(31%)	(12%)	(3%)	(0%)	(7%)	(100%)	B
		⑨直近階への移動の際の階段利用、利用実態に応じたエレベーターの間引き運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(24%)	(5%)	(4%)	(0%)	(25%)	(100%)	B
		⑩給湯器へのエコマイザーの導入等ガスコンロ、ガス湯沸器等の給湯機器の効率的な使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (10%)	(13%)	(10%)	(40%)	(9%)	(18%)	(100%)	B
	⑪庁舎に、施設規模等に応じてCO2冷媒ヒートポンプ給湯器等の高効率給湯器を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(3%)	(8%)	(52%)	(9%)	(25%)	(100%)	B	
	⑫冷蔵庫の効率的な使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (43%)	(35%)	(10%)	(6%)	(3%)	(1%)	(100%)	B	
	⑬庁舎の使用電力購入に際して、省CO2化の要素を考慮した購入方式を導入している。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(19%)	(5%)	(16%)	(11%)	(8%)	(100%)	B	
	⑭照明の点灯時間の縮減など節電のための取組の管理を徹底するため、電力使用量のチェックシートの導入等を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (23%)	(18%)	(14%)	(42%)	(1%)	(2%)	(100%)	B	
	⑮<コージェネレーションシステムを導入している場合> 停止時間中の電力購入量の増加と燃料使用量の減少による温室効果ガスの排出量が最小となるよう運用時間を適切なものとしている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(4%)	(2%)	(6%)	(6%)	(79%)	(100%)	B	
	2) 庁舎における節水等の推進	①家庭と同様の簡便な手法を利用したトイレ洗浄水の節水を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(12%)	(12%)	(46%)	(4%)	(13%)	(100%)	B
		②必要に応じ、トイレに流水音発生器を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (34%)	(18%)	(11%)	(31%)	(0%)	(5%)	(100%)	B
		③水栓には、必要に応じて節水コマを取り付け、さらに必要に応じ、水栓での水道水圧を低めに設定している。	加重平均タイプ (構成比) (26%)	(23%)	(13%)	(28%)	(6%)	(4%)	(100%)	B
		④水漏れ点検の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(33%)	(14%)	(6%)	(2%)	(3%)	(100%)	B
		⑤公用車の洗車方法について、回数の削減、バケツの利用等の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (24%)	(36%)	(23%)	(7%)	(5%)	(5%)	(100%)	C
⑥必要に応じ、食器洗い機を導入している。		加重平均タイプ (構成比) (17%)	(8%)	(3%)	(37%)	(0%)	(34%)	(100%)	B	

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(2) ごみの分別	1) 事務室段階での廃プラスチック類等の分別回収を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (62%)	(28%)	(6%)	(3%)	(0%)	(1%)	A (100%)
	2) 分別回収ボックスを十分な数で執務室内に適切に配置している。	加重平均タイプ (構成比) (50%)	(32%)	(9%)	(8%)	(0%)	(1%)	A (100%)
	3) 個人用のごみ箱を順次減らしている。	加重平均タイプ (構成比) (20%)	(15%)	(28%)	(34%)	(2%)	(1%)	A (100%)
	4) 不要になった用紙は、クリップ、バインダー等の器具を外して分別回収するよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (57%)	(38%)	(3%)	(2%)	(0%)	(0%)	A (100%)
(3) 廃棄物の減量	1) 使い捨て製品の使用や購入の抑制を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (47%)	(39%)	(9%)	(2%)	(2%)	(1%)	A (100%)
	2) リサイクルルートの確保等を内容とする各庁舎ごとのリサイクル計画を策定するとともに、実施のための責任者を指名している。	加重平均タイプ (構成比) (9%)	(14%)	(10%)	(57%)	(4%)	(5%)	A (100%)
	3) シュレッダーの使用は秘密文書の廃棄の場合のみに制限している。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(42%)	(20%)	(9%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	4) コピー機、プリンターなどのトナーカートリッジの回収と再利用を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (86%)	(13%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	5) 厨房を使用する職員等へ呼びかけ、庁舎にある厨房施設から排水中に混入する生ごみの量を抑制している。	加重平均タイプ (構成比) (16%)	(14%)	(4%)	(5%)	(4%)	(58%)	A (100%)
	6) 食べ残し、食品残渣などの有機物質について、再生利用や熱回収を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(5%)	(4%)	(37%)	(5%)	(44%)	A (100%)
	7) 施設の所在する地域で廃棄物の交換の仕組みが設けられており、これに参加できる場合は、廃棄物の交換に積極的に協力している。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(1%)	(1%)	(12%)	(10%)	(69%)	A (100%)
	8) 廃棄するOA機器及び家電製品並びに使用を廃止する車が廃棄物として処理される場合には、適正に処理されるよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (81%)	(14%)	(1%)	(0%)	(1%)	(3%)	A (100%)
	9) 物品の在庫管理を徹底し、期限切れ廃棄等の防止に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (63%)	(31%)	(2%)	(1%)	(1%)	(3%)	A (100%)
(4) 森林の整備・保全の推進	1) 植林、保育、間伐等森林の整備や管理・保全の適切な推進を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (4%)	(5%)	(0%)	(2%)	(2%)	(87%)	A (100%)
(5) 政府主催等のイベントの実施に伴う温室効果ガスの排出等の削減	1) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、会場の冷暖房の温度設定の適正化、参加者への公共交通機関の利用の奨励など温室効果ガスの排出削減に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(14%)	(6%)	(5%)	(4%)	(57%)	A (100%)
	2) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、ごみの分別、ごみの持ち込みの自粛・持ち帰りの奨励など廃棄物の減量化に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(15%)	(6%)	(5%)	(4%)	(58%)	A (100%)
	3) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、パンフレット等に再生紙を使用するなどの取組を可能な限	加重平均タイプ (構成比) (17%)	(16%)	(3%)	(3%)	(4%)	(57%)	A (100%)
	4) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、イベントを民間に委託して行う際には、可能な場合にはグリーン電力の活用を努めている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(2%)	(4%)	(9%)	(9%)	(72%)	A (100%)
	5) 政府が後援等をする民間のイベントについても、上記取組が行われるよう促している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(3%)	(6%)	(11%)	(10%)	(67%)	A (100%)

2.4 職員に対する研修等

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(1) 職員に対する地球温暖化対策に関する研修の機会提供	1) 地球温暖化対策に関する研修を計画的に推進している。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(11%)	(23%)	(47%)	(2%)	(4%)	A (100%)
	2) 庁内誌、パンフレット、庁内LAN等により、再生紙等の名刺への活用、計画されている地球温暖化対策に関する活動や研修など、職員が参加できる地球温暖化対策に関する活動に対し、必要な情報提供を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(21%)	(26%)	(26%)	(2%)	(3%)	A (100%)
	3) 地球温暖化対策に関するシンポジウム、研修会への職員の積極的な参加が図られるよう便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(11%)	(20%)	(54%)	(3%)	(7%)	A (100%)
	4) 途上国からの地球温暖化対策に関する研修生等に対し積極的に対応している。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(1%)	(2%)	(32%)	(3%)	(61%)	A (100%)
(2) 地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加の奨励	1) 国が主催する環境関係の諸行事において、地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加に便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(10%)	(21%)	(53%)	(5%)	(8%)	A (100%)
	2) 希望する職員が地球温暖化対策の推進に関する活動に参加できるよう、休暇を取りやすい環境づくりを一層進める等、必要な便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(9%)	(19%)	(51%)	(7%)	(8%)	A (100%)
	3) 職員に、いわゆる「環境家計簿」による電気、ガス等の温室効果ガスの排出の原因となる活動量の自己管理の実施を奨励している。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(2%)	(25%)	(66%)	(3%)	(3%)	A (100%)
(3) その他	1) 昼休みや定時退庁日における勤務時間終了後の一斉消灯など「省CO2行動ルール」を策定し、実施している。	加重平均タイプ (構成比) (44%)	(28%)	(11%)	(15%)	(1%)	(1%)	A (100%)
	2) 職員から省CO2化に資するアイデア(エコ・アイデア)を募集し、効果的なものを実行に移している。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(9%)	(20%)	(63%)	(2%)	(2%)	A (100%)

(2) 政府の実行計画の実施状況調査（本府省）

政府の実行計画の実施状況調査票集計結果
（措置目標以外の取組に関する調査）

1. 調査対象機関に関する調査

(1) 対象機関の就業人数	53258 人
(2) 延床面積・施設数	合計 1786725 m ² 合計 144 施設

※加重平均タイプは以下の通り

- A：就業人数
- B：延床面積
- C：公用車台数
- D：一般公用車台数
- E：一般公用車以外台数
- F：施設数

2.1 財やサービスの購入・使用に当たっての配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計					
(1) 低公害車の導入	1) 一般公用車について、低公害車比率100%を維持している。	加重平均タイプ (構成比)	(32%)	(22%)	(28%)	(2%)	(6%)	(10%)	D				
	2) 一般公用車以外の公用車について、数値目標を掲げて低公害車化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(22%)	(1%)	(26%)	(0%)	(10%)	E				
	3) 燃料電池自動車について率先導入している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(2%)	(15%)	(52%)	(0%)	(16%)	C				
	4) 車の買換えに当たっては、使用実態を踏まえ必要最小限度の大きさの車を選択する等、より温室効果ガスの排出の少ない車の導入を進め、当該車の優先的利用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(65%)	(0%)	(0%)	(2%)	(0%)	(33%)	C				
(2) 自動車の効率的利用	1) 公用車等の効率的利用等	①車一台ごとや燃料設備ごとの走行距離、燃費等を把握するなど燃料使用量の調査をきめ細かく行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(91%)	(8%)	(1%)	(0%)	(0%)	(100%)	C			
		②アイドリング・ストップ装置の活用などにより、待機時のエンジン停止の励行、不要なアイドリングの中止等の環境に配慮した運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(63%)	(35%)	(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	C		
		③有料道路を利用する公用車について、ETC車載器を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(99%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	C		
		④3メディア対応型の道路交通情報通信システム(VICS)対応車載機を積極的に活用している。	加重平均タイプ (構成比)	(70%)	(4%)	(14%)	(4%)	(0%)	(7%)	(100%)	C		
		⑤タイヤ空気圧調整等の定期的な車両の点検・整備の励行を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(98%)	(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	C		
		⑥夏期におけるカーエアコンの設定温度を1度アップしている。	加重平均タイプ (構成比)	(43%)	(30%)	(14%)	(13%)	(0%)	(0%)	(100%)	C		
		⑦ガソリンを満タンにしない。	加重平均タイプ (構成比)	(38%)	(13%)	(30%)	(18%)	(0%)	(1%)	(100%)	C		
		⑧通勤時や業務時の移動において、鉄道、バス等公共交通機関の利用を推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(64%)	(30%)	(5%)	(0%)	(0%)	(1%)	(100%)	A		
		⑨震が関地域において、毎月第一月曜日は、公用車の使用を終日自粛するものとし、移動手段は徒歩、自転車又は公共交通機関によるものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(48%)	(0%)	(36%)	(3%)	(0%)	(12%)	(100%)	A		
		⑩タクシー券の適切な管理の一層の徹底を図り、不要不急のタクシー利用を抑制している。	加重平均タイプ (構成比)	(95%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(1%)	(100%)	A		
	⑪来庁者に対しても低公害車の優先利用、自動車利用の抑制や効率化を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(23%)	(14%)	(15%)	(46%)	(0%)	(2%)	(100%)	A			
2) 公用車の台数の見直し	①使用実態を精査し、公用車台数の見直しを行い、その削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(70%)	(16%)	(9%)	(3%)	(0%)	(1%)	(100%)	C	台数	サンプル数	
(3) 自転車の活用	1) 「震が関自転車利用システム」（平成11年2月）のさらなる活用など、震ヶ関及び地方支分部局等の所在地における自転車の共同利用を一層推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(49%)	(21%)	(9%)	(10%)	(0%)	(10%)	(100%)	A	2,358 台	283	

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計										
(4) エネルギー消費効率の高い機器の導入	①パソコン、ワープロ、コピー機等のOA機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (69%)	(20%)	(7%)	(0%)	(2%)	(1%)	(100%)	B									
	②電気冷蔵庫、ルームエアコン等の家電製品について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(28%)	(16%)	(0%)	(0%)	(14%)	(100%)	B									
	③蛍光灯等の照明器具等の機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比) (76%)	(16%)	(1%)	(1%)	(0%)	(6%)	(100%)	B									
	④省エネルギー型の照明ランプを導入している。	<直管型照明器具> 1) Hf型蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (2%)	(4%)	(2%)	(31%)	(45%)	(16%)	(100%)	B	導入(残存)割合	0%	~30%	~50%	~80%	~100%未満	100%	計
		<直管型照明器具> 2) LED	加重平均タイプ (構成比) (45%)	(51%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	B	(4%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
		<直管型照明器具> 3) Hf型以外のインバータ付き蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(40%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	B	(51%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
		<ダウンライト> 4) 電球型ツイン蛍光灯	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(18%)	(31%)	(14%)	(16%)	(3%)	(100%)	B	(40%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
		<ダウンライト> 5) LED電球	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(36%)	(20%)	(13%)	(0%)	(5%)	(100%)	B	(18%)	(31%)	(14%)	(16%)	(3%)	(16%)	(3%)	(100%)
		<ダウンライト> 6) 白熱電球(注: 残存割合)	加重平均タイプ (構成比) (59%)	(32%)	(0%)	(8%)	(0%)	(0%)	(100%)	B	(27%)	(36%)	(20%)	(13%)	(0%)	(5%)	(5%)	(100%)
		<屋外照明> 7) 水銀灯(注: 残存割合)	加重平均タイプ (構成比) (39%)	(19%)	(8%)	(8%)	(22%)	(4%)	(100%)	B	(32%)	(0%)	(8%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
<屋外照明> 8) メタルハライドランプ		加重平均タイプ (構成比) (26%)	(45%)	(9%)	(6%)	(10%)	(5%)	(100%)	B	(19%)	(8%)	(8%)	(22%)	(4%)	(4%)	(4%)	(100%)	
<屋外照明> 9) LED		加重平均タイプ (構成比) (50%)	(25%)	(6%)	(12%)	(0%)	(7%)	(100%)	B	(45%)	(9%)	(6%)	(10%)	(5%)	(5%)	(5%)	(100%)	
⑤上記機器について、省エネルギーモード設定の適用等により、使用面での改善を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (49%)	(47%)	(1%)	(2%)	(0%)	(1%)	(100%)	B	(25%)	(6%)	(12%)	(0%)	(7%)	(7%)	(7%)	(100%)		
①節水機器等の導入等	1) 現に使用している水多消費型の機器の廃止又は買換えを計画的に進め、買換えに当たっては、節水型等のものを選択し、またこれらの機器の新規の購入に当たっては同様としている。	加重平均タイプ (構成比) (70%)	(9%)	(5%)	(7%)	(1%)	(9%)	(100%)	B	(25%)	(6%)	(12%)	(0%)	(7%)	(7%)	(100%)		
(5) 用紙類の使用量の削減	1) コピー用紙、事務用箋、伝票等の用紙類の年間使用量について、各省庁の部局単位など適切な単位で把握し、管理し、削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (53%)	(44%)	(2%)	(0%)	(1%)	(0%)	(100%)	A	(47%)	(1%)	(2%)	(0%)	(1%)	(9%)	(9%)	(100%)	
	2) 会議用資料や事務手続の一層の簡素化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (35%)	(56%)	(2%)	(0%)	(7%)	(0%)	(100%)	A	(44%)	(2%)	(0%)	(7%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	3) 各種報告書類の大きさ等の規格の統一を進め、また、そのページ数や部数についても必要最小限の量となるよう見直しを図っている。	加重平均タイプ (構成比) (35%)	(64%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A	(56%)	(2%)	(0%)	(7%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	4) 両面印刷・両面コピーの徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (77%)	(22%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A	(64%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	5) 使用済み用紙の裏紙使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (29%)	(44%)	(27%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A	(22%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	6) 使用済み封筒の再利用など、封筒使用の合理化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (42%)	(47%)	(5%)	(5%)	(0%)	(0%)	(100%)	A	(44%)	(27%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	7) A四判化の徹底による文書の一層のスリム化を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (56%)	(35%)	(3%)	(0%)	(7%)	(0%)	(100%)	A	(47%)	(5%)	(5%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
	8) 温室効果ガスの排出削減の観点から、ペーパーレスシステムの早期の確立を図るため、電子メール、庁内LANの活用及び文書・資料の磁気媒体保存等電子メディア等の利用による情報システムの整備を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(40%)	(1%)	(0%)	(1%)	(0%)	(100%)	A	(35%)	(3%)	(0%)	(7%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
(6) 再生紙などの再生品や木材の活用	1) 再生紙の使用等	①購入し、使用するコピー用紙、けい紙・起案用紙、トイレトーパーバー等の用紙類については、再生紙の使用を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (83%)	(17%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	A	(40%)	(1%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	
		②印刷物については、再生紙を使用し、古紙/パルプ配合率を明記するよう努めるとともに、可能な場合においては、市中回収古紙を含む再生紙の使用拡大が図られるような配慮を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (65%)	(25%)	(1%)	(0%)	(9%)	(0%)	(100%)	A	(17%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
	2) 木材、再生品等の活用	①購入し、使用する文具類、機器類、制服・作業服等の物品について、再生材料から作られたものを使用している。	加重平均タイプ (構成比) (66%)	(29%)	(0%)	(0%)	(5%)	(0%)	(100%)	A	(25%)	(1%)	(0%)	(9%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
		②間伐材、小径材等の木材や未利用繊維等の利用状況の低位な原材料から作られた製品を使用している。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(35%)	(21%)	(5%)	(8%)	(1%)	(100%)	A	(29%)	(0%)	(0%)	(5%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
(7) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進等	1) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進	①庁舎等の公共施設の冷蔵庫、空調機器及び公用車のカーエアコンの購入、交換に当たっては、HFCの代替物質を使用した製品の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (69%)	(16%)	(1%)	(0%)	(4%)	(10%)	(100%)	B	(35%)	(3%)	(0%)	(7%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)
		②HFCを使用している製品を購入・使用する場合に、地球温暖化への影響のより小さい機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (56%)	(19%)	(2%)	(0%)	(3%)	(19%)	(100%)	B	(16%)	(1%)	(0%)	(4%)	(10%)	(10%)	(100%)	
		③エアプール製品を使用する場合には、安全性に配慮し必要不可欠な用途を除いて、代替物質を使用した非フロン系製品の選択・使用を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (74%)	(8%)	(1%)	(0%)	(9%)	(8%)	(100%)	B	(19%)	(2%)	(0%)	(3%)	(19%)	(19%)	(100%)	
	2) 電気機械器具からのSF6の回収・破壊等	①庁舎等の公共施設の電気機械器具については、廃棄、整備するに当たって極力SF6の回収・破壊、漏洩の防止を行うよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (56%)	(6%)	(0%)	(0%)	(14%)	(23%)	(100%)	B	(8%)	(1%)	(0%)	(9%)	(8%)	(8%)	(100%)	

			よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計	
(8) その他	1) その他温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の選択	①物品の調達に当たっては、温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の使用が促進されるよう、製品等の仕様等の事前の確認を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(52%)	(38%)	(5%)	(0%)	(5%)	(1%)	A (100%)
		②環境ラベルや製品の環境情報をまとめたデータベースなどの環境物品等に関する情報について、当該情報の適切性に留意しつつ活用し、温室効果ガスの排出の少ない環境物品等の優先的な調達を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(56%)	(33%)	(1%)	(1%)	(9%)	(1%)	A (100%)
		③資源採取から廃棄までの物品のライフサイクル全体についての温室効果ガスの排出の抑制等を考慮した物品の選択を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(57%)	(38%)	(1%)	(1%)	(2%)	(2%)	A (100%)
		④購入、使用する燃料について、現に使用している燃焼設備で利用可能な場合は、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的に少ないものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(65%)	(0%)	(0%)	(4%)	(1%)	(30%)	B (100%)
		⑤燃焼設備の改修に当たっては、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的により少ない燃料の使用が可能となるよう適切な対応を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(30%)	(2%)	(0%)	(4%)	(1%)	(63%)	B (100%)
		⑥重油を燃料としている設備の更新に当たっては、可能な場合、重油に比べ温室効果ガスの排出の相対的に少ない燃料に変更している。	加重平均タイプ (構成比)	(1%)	(2%)	(1%)	(4%)	(2%)	(90%)	B (100%)
	2) 製品等の長期使用等	①容器包装を利用する場合にあっては、簡略なものとし、当該容器包装の再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(56%)	(17%)	(4%)	(0%)	(8%)	(15%)	A (100%)
		②詰め替え可能な洗剤、文具等を使用している。	加重平均タイプ (構成比)	(75%)	(24%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		③弁当及び飲料容器について、リターナブル容器で販売されるものの購入を進めるとともに、適正な回収ルートを設け、再使用を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(19%)	(42%)	(8%)	(12%)	(0%)	(18%)	A (100%)
		④庁舎内の売店等におけるレジ袋の使用や使い捨ての容器包装による販売の自粛を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(46%)	(12%)	(1%)	(9%)	(18%)	A (100%)
		⑤机等の事務用品の不具合、更新を予定していない電気製品等の故障の際には、それらの修繕に努め、再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(81%)	(19%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		⑥部品の交換修理が可能な製品、保守・修理サービス期間の長い製品の使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(68%)	(31%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	3) エネルギーを多く消費する自動販売機の設置等の見直し	①庁舎内の自動販売機の設置実態の精査を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(52%)	(38%)	(1%)	(1%)	(0%)	(8%)	B (100%)
		②庁舎内の自動販売機のエネルギー消費のより少ない機種やオゾン層破壊物質及びHFCを使用しない機器への変更を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(64%)	(28%)	(1%)	(0%)	(3%)	(4%)	B (100%)
		③庁舎内の自動販売機の設置台数の減少など適正な配置を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(61%)	(29%)	(1%)	(5%)	(0%)	(5%)	B (100%)
		④コンビニエンスストアなど庁舎内の売店等における営業時間の短縮など省エネルギー化を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(50%)	(20%)	(4%)	(6%)	(0%)	(19%)	B (100%)
	4) 購入時の過剰包装の見直し	①簡略に包装された商品の選択、購入、また、リサイクルの仕組みが確立している包装材を用いているものの積極的選択を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(56%)	(22%)	(2%)	(1%)	(10%)	(8%)	A (100%)
	5) メタン(CH ₄)及び二酸化二窒素(N ₂ O)の排出の抑制	①エネルギー供給設備の適正な運転管理を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(64%)	(0%)	(0%)	(0%)	(1%)	(34%)	B (100%)
		②庁舎から排出される生ごみ等については、極力、直接埋立の方法により処理しないよう、分別や再生利用、適正処理を実施するとともに、廃棄物処理業者に対し発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(84%)	(2%)	(0%)	(8%)	(1%)	(5%)	A (100%)
		③水田における水管理方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	F (100%)
		④ほ場における施肥方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	F (100%)
		⑤家畜の飼養管理技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	F (100%)
		⑥家畜排せつ物の適正処理や循環資源としての利用のための技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	F (100%)
		⑦笑気ガス(麻酔剤)の漏出防止等を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	F (100%)

2.2 建築物の建築、管理等に当たっての配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計			
(1) 建築物の建築における省エネルギー対策の徹底	1) 建築物を建築する際には、省エネルギー対策を徹底し、温室効果ガスの排出の抑制に配慮したものととして整備している。	加重平均タイプ (構成比) (44%)	(10%)	(0%)	(0%)	(6%)	(39%)	B (100%)			
	(2) 既存の建築物における省エネルギー対策の徹底	1) 既存の建築物においてエネルギーの使用状況等省エネルギーに係る診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (54%)	(16%)	(13%)	(14%)	(1%)	(2%)	B (100%)		
		2) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、設備・機器の導入、設備等改修を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (61%)	(21%)	(1%)	(2%)	(1%)	(14%)	B (100%)		
		3) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、運用改善を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (68%)	(24%)	(3%)	(1%)	(0%)	(4%)	B (100%)	導入数 270	サンプル数 109
		4) 既存の建築物における簡易ESCO診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (39%)	(2%)	(1%)	(48%)	(1%)	(9%)	B (100%)	施設	
5) <中央官庁庁舎のみ回答> 簡易ESCO診断結果に基づく省エネ改修を実施している。	診断未実施 加重平均タイプ (構成比) (48%)	(14%)	(35%)	(3%)				計			
(3) 温室効果ガスの排出の抑制等に資する建設資材等の選択	1) 建設資材については、再生された又は再生できるものをできる限り使用するとともに、コンクリート塊等の建設廃材、スラグ、廃ガラス等を路盤材、タイル等の原材料の一部として再生利用を図り、また支障のない限り混合セメントの利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (33%)	(20%)	(9%)	(0%)	(1%)	(37%)	B (100%)			
	2) 断熱性能向上のため、屋根、外壁等への断熱材の使用や、断熱サッシ・ドア等の断熱性の高い建具の使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (16%)	(35%)	(2%)	(4%)	(1%)	(42%)	B (100%)			
	3) 建築物の断熱性能に大きな影響を及ぼす窓について、複層ガラスや二重窓、遮光フィルム、窓の外部のひさしやブラインドシャッターの導入など、断熱性能の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (70%)	(18%)	(1%)	(0%)	(0%)	(11%)	B (100%)			
	4) 建築物の建築等に当たっては支障のない限り再生産可能な資源である木材の利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (18%)	(19%)	(5%)	(4%)	(1%)	(52%)	B (100%)			
	5) 安全性、経済性、エネルギー効率、断熱性能等に留意しつつ、利用可能である場合には、HFCを使用しない建設資材の利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(17%)	(6%)	(4%)	(6%)	(40%)	B (100%)			
	6) 損失の少ない受電用変圧器の使用を促進する等設備におけるエネルギー損失の低減を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (32%)	(23%)	(9%)	(0%)	(1%)	(35%)	B (100%)			
	7) 電力負荷平準化に資する蓄熱システム等の導入を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (21%)	(14%)	(0%)	(7%)	(1%)	(59%)	B (100%)	導入数 151	サンプル数 103	
(4) 温室効果ガスの排出の少ない空調設備の導入等	1) 空調設備について、温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図り、また既存の空調設備についても、その更新時に温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (28%)	(8%)	(7%)	(8%)	(2%)	(47%)	B (100%)	過去1年間の新規設置施設数 施設	293	
	2) 庁舎に高効率空調機を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (29%)	(13%)	(14%)	(7%)	(0%)	(37%)	B (100%)	過去1年間に更新した施設数 施設	178	
	3) 冷却性能の低下等の異常が認められた場合、冷媒の漏洩の可能性があるため、速やかに補修その他の必要な措置を講じている。	加重平均タイプ (構成比) (66%)	(18%)	(1%)	(0%)	(0%)	(15%)	B (100%)			
(5) 冷暖房の適正な温度管理	1) 庁舎内における冷暖房温度の適正管理（冷房の場合は28度程度、暖房の場合は19度程度）を一層徹底するよう空調設備の適正運転を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (91%)	(8%)	(0%)	(0%)	(0%)	(1%)	B (100%)			
	2) コンピューター室の冷房については、コンピューター性能が確保できる範囲内で可能な限り設定温度を上げる等の適正な運用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (87%)	(11%)	(0%)	(0%)	(0%)	(2%)	B (100%)	導入数 16	サンプル数 10	
(6) 新エネルギーの有効利用	1) 庁舎や公務員宿舎に燃料電池を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (7%)	(5%)	(2%)	(46%)	(0%)	(39%)	B (100%)	導入施設数 施設	313	
	2) 庁舎や公務員宿舎に太陽熱利用システムを可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (2%)	(6%)	(5%)	(54%)	(0%)	(34%)	B (100%)	導入施設数 施設	50	
	3) 庁舎や公務員宿舎に木質バイオマス燃料を使用する暖房器具やボイラー等を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(0%)	(0%)	(58%)	(0%)	(42%)	B (100%)	導入施設数 施設	49	
	4) 建築物の立地する地域において、地域冷暖房等の事業が計画されている場合には、参加するよう図っている。	加重平均タイプ (構成比) (21%)	(2%)	(0%)	(12%)	(1%)	(63%)	B (100%)	導入施設数 施設	32	
	5) 建築物の規模・用途等を検討し、コージェネレーションシステム、廃熱利用等のエネルギー使用の合理化が図られる設備の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(6%)	(0%)	(46%)	(0%)	(26%)	B (100%)	導入施設数 施設	34	
(7) 水の有効利用	1) 建築物等における雨水の適切な利用が可能な場合は、雨水の貯留タンク等の雨水利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (24%)	(5%)	(0%)	(33%)	(1%)	(38%)	B (100%)			
	2) 建築物から排出される排水の適切な再利用が可能な場合は、排水再利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (56%)	(0%)	(0%)	(25%)	(0%)	(19%)	B (100%)			
	3) 給水装置等の末端に、必要に応じて、感知式の洗浄弁・自動水栓等節水に有効な器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (75%)	(17%)	(0%)	(3%)	(1%)	(4%)	B (100%)			
	4) 排水再利用・雨水利用設備等の日常の管理の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (46%)	(16%)	(0%)	(9%)	(0%)	(30%)	B (100%)			

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(8) 太陽光発電の導入及び建物の緑化の整備要領	1) 太陽光発電システム導入状況	表5参照								
	2) 建築物の外壁面の緑化、屋上緑化の実施	表5参照								
	3) 太陽光発電の導入及び建物の緑化に当たっては、施策の効果を有効に発揮できるよう整備するとともに、国民への施策の周知についても考慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(44%)	(14%)	(9%)	(11%)	(2%)	(21%)	B (100%)	
	4) 太陽光発電の導入については、発電電力量等を表示するなど、効果についての説明が可能となるよう配慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(24%)	(7%)	(6%)	(47%)	(0%)	(15%)	B (100%)	
	5) 建物の緑化については、建物の低層部分への整備を主として行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(17%)	(22%)	(4%)	(14%)	(3%)	(40%)	B (100%)	
	6) 既存庁舎へ整備する場合は、構造体の耐震安全性、積載荷重、整備後のメンテナンス等を考慮している。	加重平均タイプ (構成比)	(48%)	(23%)	(0%)	(1%)	(8%)	(20%)	B (100%)	
(9) その他	1) 温室効果ガスの排出の少ない施工の実施	①建築物の建築等に当たっては支障のない限りエネルギー消費量の少ない建設機械を使用するよう発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(3%)	(13%)	(0%)	(3%)	(46%)	B (100%)
		②合板型枠については、一層の効率的・合理的利用や使用削減など施工を合理化する工法の選択を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(36%)	(3%)	(7%)	(0%)	(4%)	(50%)	B (100%)
		③出入車輛から排出される温室効果ガスの抑制を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(3%)	(8%)	(7%)	(6%)	(35%)	B (100%)
		④建設業に係る指定副産物の再生利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比)	(42%)	(7%)	(0%)	(0%)	(1%)	(49%)	B (100%)
		⑤建設業に係る指定副産物の新規用途の開発に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(6%)	(5%)	(2%)	(0%)	(8%)	(79%)	B (100%)
		⑥建設業者による建設廃棄物等の適正処理を発注者として確認している。	加重平均タイプ (構成比)	(45%)	(14%)	(0%)	(0%)	(2%)	(40%)	B (100%)
	2) 建築物の建築等に当たってのその他の環境配慮の実施	①庁舎等の敷地について植栽を施し、緑化を推進するとともに、保水性舗装や散水の実施に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(46%)	(30%)	(11%)	(4%)	(0%)	(9%)	B (100%)
		②樹木の剪定した枝や落葉等は、再生利用し、廃棄物としての排出を削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(11%)	(21%)	(8%)	(6%)	(14%)	B (100%)
		③休閑地については緑化に努めるなど適正な維持管理を図り、ごみの不法投棄を防いでいる。	加重平均タイプ (構成比)	(21%)	(3%)	(0%)	(0%)	(0%)	(76%)	B (100%)
		④定格出力が大きく負荷の変動がある動力装置について、インバータ装置の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(31%)	(50%)	(1%)	(5%)	(1%)	(12%)	B (100%)
		⑤エレベーターの運転の高度制御を実施している。	加重平均タイプ (構成比)	(58%)	(25%)	(0%)	(3%)	(3%)	(11%)	B (100%)
		⑥省エネルギー型の照明器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(44%)	(50%)	(0%)	(1%)	(0%)	(4%)	B (100%)
		⑦空調の自動制御設備について、規模・用途に応じて検討、整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(70%)	(24%)	(1%)	(1%)	(0%)	(5%)	B (100%)
		⑧可能な限り反射板の取り付けにより照明の照度の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(16%)	(6%)	(6%)	(0%)	(36%)	B (100%)
		⑨屋外照明器具の設置に当たっては、上方光束が小さく省エネルギー性の高い適切な照明機器を選定している。	加重平均タイプ (構成比)	(62%)	(17%)	(10%)	(4%)	(2%)	(6%)	B (100%)
		⑩建築物の建築等の設計者が、温室効果ガスの排出抑制技術やノウハウに秀でた者であるかどうかを考慮するなど、技術的能力の審査に基づく選定方法の採用に努め、環境への配慮を重視した企画の提案などの採用を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(6%)	(7%)	(5%)	(1%)	(5%)	(76%)	B (100%)
3) 施設や機器の効率的な運用に資する設備の導入	①最大使用電力を設定し、使用電力に応じて警報の発生や一部電力の遮断（防災上必要な部分を除く。）などを行う電力のデマンド監視装置等の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(78%)	(9%)	(5%)	(2%)	(0%)	(6%)	B (100%)	
	②機器の効率的な運用に資するため、機械室の換気運転の室温に応じた制御を可能とする温度センサーや、空調の効率低下を防ぐための室外機への遮光ネットなどの導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(27%)	(40%)	(13%)	(11%)	(1%)	(8%)	B (100%)	
4) 新しい技術の率先的導入	①民間での導入実績が必ずしも多くない新たな技術を用いた設備等であっても、高いエネルギー効率や優れた温室効果ガス排出抑制効果等を確認できる技術を用いた設備等については、率先的導入に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(3%)	(13%)	(52%)	(6%)	(26%)	B (100%)	

2.3 その他の事務・事業にあたっての温室効果ガスの排出の抑制等への配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(1) エネルギー使用量の抑制	2) 庁舎における節水等の推進	①OA機器、家電製品及び照明については、スイッチの適正管理等エネルギー使用量を抑制するよう適切に使用している。	加重平均タイプ (構成比) (61%)	(19%)	(20%)	(0%)	(1%)	(0%)	B (100%)	
		②夏季における執務室での服装について、暑さをしのぎやすい軽装、いわゆる「クールビズ」を励行する。また、冬季における執務室の服装について、快適に過ごせるよう適切な服装、いわゆる「ウォーム・ビズ」を励行している。	加重平均タイプ (構成比) (87%)	(12%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		③冷暖房中の窓、出入口の開放禁止を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (73%)	(27%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		④発熱の大きいOA機器類の配置を工夫している。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(29%)	(39%)	(1%)	(1%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		⑤深夜残業のための点灯時間の縮減及び帰宅時のタクシー利用の削減のため、並びに職員の福利厚生の上向上に係る要請への対応ともあいまって、水曜日の定時退庁の一層の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (65%)	(19%)	(16%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		⑥職員の福利厚生の上向上に係る要請への対応ともあいまって、有給休暇の計画的消化の一層の徹底、事務の見直しにより、夜間残業の削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(28%)	(9%)	(0%)	(5%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		⑦昼休みは、業務上特に照明が必要な箇所を除き消灯を図り、また夜間における照明も、業務上必要最小限の範囲で点灯することとし、それ以外は消灯を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (84%)	(15%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		⑧トイレ、廊下、階段等での自然光の活用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(1%)	(24%)	(4%)	(0%)	(40%)	(0%)	B (100%)
		⑨直近階への移動の際の階段利用、利用実態に応じたエレベーターの間引き運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (80%)	(8%)	(6%)	(0%)	(0%)	(5%)	(0%)	B (100%)
		⑩給湯器へのエコマイザーの導入等ガスコンロ、ガス湯沸器等の給湯機器の効率的な使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(5%)	(0%)	(17%)	(1%)	(65%)	(0%)	B (100%)
		⑪庁舎に、施設規模等に応じてCO2冷媒ヒートポンプ給湯器等の高効率給湯器を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(5%)	(3%)	(25%)	(1%)	(60%)	(0%)	B (100%)
		⑫冷蔵庫の効率的な使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (65%)	(14%)	(6%)	(7%)	(2%)	(7%)	(0%)	B (100%)
		⑬庁舎の使用電力購入に際して、省CO2化の要素を考慮した購入方式を導入している。	加重平均タイプ (構成比) (83%)	(10%)	(0%)	(2%)	(1%)	(4%)	(0%)	B (100%)
		⑭照明の点灯時間の縮減など節電のための取組の管理を徹底するため、電力使用量のチェックシートの導入等を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (46%)	(8%)	(21%)	(24%)	(0%)	(1%)	(0%)	B (100%)
		⑮<コージェネレーションシステムを導入している場合> 停止時間中の電力購入量の増加と燃料使用量の減少による温室効果ガスの排出量が最小となるよう運用時間を適切なものとしている。	加重平均タイプ (構成比) (9%)	(20%)	(0%)	(1%)	(1%)	(70%)	(0%)	B (100%)
2) 庁舎における節水等の推進	①家庭と同様の簡便な手法を利用したトイレ洗浄水の節水を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (23%)	(1%)	(7%)	(9%)	(1%)	(59%)	(0%)	B (100%)	
	②必要に応じ、トイレに流水音発生器を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (73%)	(21%)	(0%)	(4%)	(0%)	(2%)	(0%)	B (100%)	
	③水栓には、必要に応じて節水コマを取り付け、さらに必要に応じ、水栓での水道水圧を低めに設定している。	加重平均タイプ (構成比) (66%)	(20%)	(1%)	(10%)	(1%)	(2%)	(0%)	B (100%)	
	④水漏れ点検の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (84%)	(8%)	(6%)	(0%)	(0%)	(3%)	(0%)	B (100%)	
	⑤公用車の洗車方法について、回数の削減、バケツの利用等の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (49%)	(39%)	(8%)	(0%)	(3%)	(1%)	(0%)	C (100%)	
	⑥必要に応じ、食器洗い機を導入している。	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(5%)	(0%)	(5%)	(0%)	(63%)	(0%)	B (100%)	

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(2) ごみの分別	1) 事務室段階での廃プラスチック類等の分別回収を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (72%)	(15%)	(10%)	(1%)	(0%)	(3%)	A (100%)
	2) 分別回収ボックスを十分な数で執務室内に適切に配置している。	加重平均タイプ (構成比) (69%)	(15%)	(6%)	(8%)	(0%)	(3%)	A (100%)
	3) 個人用のごみ箱を順次減らしている。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(14%)	(15%)	(43%)	(0%)	(7%)	A (100%)
	4) 不要になった用紙は、クリップ、バインダー等の器具を外して分別回収するよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (76%)	(23%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
(3) 廃棄物の減量	1) 使い捨て製品の使用や購入の抑制を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (69%)	(29%)	(1%)	(0%)	(1%)	(1%)	A (100%)
	2) リサイクルルートの確保等を内容とする各庁舎ごとのリサイクル計画を策定するとともに、実施のための責任者を指名している。	加重平均タイプ (構成比) (40%)	(0%)	(7%)	(38%)	(9%)	(6%)	A (100%)
	3) シュレッダーの使用は秘密文書の廃棄の場合のみに制限している。	加重平均タイプ (構成比) (61%)	(26%)	(4%)	(10%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	4) コピー機、プリンターなどのトナーカートリッジの回収と再利用を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (90%)	(9%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	5) 厨房を使用する職員等へ呼びかけ、庁舎にある厨房施設から排水中に混入する生ごみの量を抑制している。	加重平均タイプ (構成比) (36%)	(16%)	(0%)	(0%)	(11%)	(37%)	A (100%)
	6) 食べ残し、食品残渣などの有機物質について、再生利用や熱回収を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(24%)	(0%)	(15%)	(10%)	(23%)	A (100%)
	7) 施設の所在する地域で廃棄物の交換の仕組みが設けられており、これに参加できる場合は、廃棄物の交換に積極的に協力している。	加重平均タイプ (構成比) (10%)	(0%)	(1%)	(4%)	(2%)	(83%)	A (100%)
	8) 廃棄するOA機器及び家電製品並びに使用を廃止する車が廃棄物として処理される場合には、適正に処理されるよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (86%)	(8%)	(0%)	(0%)	(0%)	(6%)	A (100%)
	9) 物品の在庫管理を徹底し、期限切れ廃棄等の防止に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (66%)	(30%)	(3%)	(0%)	(0%)	(2%)	A (100%)
(4) 森林の整備・保全の推進	1) 植林、保育、間伐等森林の整備や管理・保全の適切な推進を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(0%)	(0%)	(0%)	(1%)	(92%)	A (100%)
(5) 政府主催等のイベントの実施に伴う温室効果ガスの排出等の削減	1) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、会場の冷暖房の温度設定の適正化、参加者への公共交通機関の利用の奨励など温室効果ガスの排出削減に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(12%)	(23%)	(0%)	(1%)	(45%)	A (100%)
	2) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、ごみの分別、ごみの持ち込みの自粛・持ち帰りの奨励など廃棄物の減量化に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(20%)	(13%)	(0%)	(1%)	(46%)	A (100%)
	3) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、パンフレット等に再生紙を使用するなどの取組を可能な限	加重平均タイプ (構成比) (20%)	(26%)	(7%)	(0%)	(0%)	(46%)	A (100%)
	4) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、イベントを民間に委託して行う際には、可能な場合にはグリーン電力の活用を努めている。	加重平均タイプ (構成比) (8%)	(0%)	(16%)	(6%)	(1%)	(69%)	A (100%)
	5) 政府が後援等をする民間のイベントについても、上記取組が行われるよう促している。	加重平均タイプ (構成比) (8%)	(0%)	(18%)	(10%)	(1%)	(63%)	A (100%)

2.4 職員に対する研修等

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(1) 職員に対する地球温暖化対策に関する研修の機会提供、情報提供	1) 地球温暖化対策に関する研修を計画的に推進している。	加重平均タイプ (構成比) (7%)	(7%)	(9%)	(71%)	(1%)	(4%)	A (100%)
	2) 庁内誌、パンフレット、庁内LAN等により、再生紙等の名刺への活用、計画されている地球温暖化対策に関する活動や研修など、職員が参加できる地球温暖化対策に関する活動に対し、必要な情報提供を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (21%)	(11%)	(34%)	(28%)	(4%)	(1%)	A (100%)
	3) 地球温暖化対策に関するシンポジウム、研修会への職員の積極的な参加が図られるよう便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(13%)	(9%)	(49%)	(5%)	(4%)	A (100%)
	4) 途上国からの地球温暖化対策に関する研修生等に対し積極的に対応している。	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(4%)	(0%)	(32%)	(5%)	(46%)	A (100%)
(2) 地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加の奨励	1) 国が主催する環境関係の諸行事において、地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加に便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(10%)	(35%)	(37%)	(5%)	(7%)	A (100%)
	2) 希望する職員が地球温暖化対策の推進に関する活動に参加できるよう、休暇を取りやすい環境づくりを一層進める等、必要な便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(3%)	(25%)	(48%)	(5%)	(6%)	A (100%)
	3) 職員に、いわゆる「環境家計簿」による電気、ガス等の温室効果ガスの排出の原因となる活動量の自己管理の実施を奨励している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(7%)	(12%)	(79%)	(0%)	(1%)	A (100%)
(3) その他	1) 昼休みや定時退庁日における勤務時間終了後の一斉消灯など「省CO2行動ルール」を策定し、実施している。	加重平均タイプ (構成比) (58%)	(22%)	(12%)	(7%)	(0%)	(1%)	A (100%)
	2) 職員から省CO2化に資するアイデア(エコ・アイデア)を募集し、効果的なものを実行に移している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(13%)	(16%)	(64%)	(0%)	(4%)	A (100%)

(3) 政府の実行計画の実施状況調査（地方支分部局）
 政府の実行計画の実施状況調査票集計結果
 （措置目標以外の取組に関する調査）

1. 調査対象機関に関する調査

(1) 対象機関の就業人数	327663 人
(2) 延床面積・施設数	合計 14173820 m ² 合計 10603 施設

※加重平均タイプは以下の通り

- A：就業人数
- B：延床面積
- C：公用車台数
- D：一般公用車台数
- E：一般公用車以外台数
- F：施設数

2.1 財やサービスの購入・使用に当たっての配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計				
(1) 低公害車の導入	1) 一般公用車について、低公害車比率100%を維持している。	加重平均タイプ (構成比)	(3%)	(76%)	(16%)	(2%)	(1%)	(3%)	D			
	2) 一般公用車以外の公用車について、数値目標を掲げて低公害車化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(15%)	(15%)	(16%)	(25%)	(9%)	(21%)	E			
	3) 燃料電池自動車について率先導入している。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(1%)	(2%)	(71%)	(4%)	(23%)	C			
	4) 車の買換えに当たっては、使用実態を踏まえ必要最小限度の大きさの車を選択する等、より温室効果ガスの排出の少ない車の導入を進め、当該車の優先的利用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(50%)	(23%)	(2%)	(1%)	(5%)	(18%)	C			
(2) 自動車の効率的利用	1) 公用車等の効率的利用等	①車一台ごとや燃料設備ごとの走行距離、燃費等を把握するなど燃料使用量の調査をきめ細かく行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(59%)	(32%)	(5%)	(3%)	(0%)	(0%)	C		
	②アイドリング・ストップ装置の活用などにより、待機時のエンジン停止の励行、不要なアイドリングの中止等の環境に配慮した運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(34%)	(39%)	(15%)	(9%)	(1%)	(2%)	(100%)	C		
	③有料道路を利用する公用車について、ETC車載器を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(85%)	(9%)	(0%)	(2%)	(0%)	(3%)	(100%)	C		
	④3メディア対応型の道路交通情報通信システム(VICS)対応車載機を積極的に活用している。	加重平均タイプ (構成比)	(31%)	(24%)	(13%)	(25%)	(2%)	(5%)	(100%)	C		
	⑤タイヤ空気圧調整等の定期的な車両の点検・整備の励行を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(81%)	(16%)	(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	C		
	⑥夏期におけるカーエアコンの設定温度を1度アップしている。	加重平均タイプ (構成比)	(21%)	(31%)	(29%)	(12%)	(7%)	(2%)	(100%)	C		
	⑦ガソリンを満タンにしない。	加重平均タイプ (構成比)	(7%)	(11%)	(38%)	(40%)	(2%)	(1%)	(100%)	C		
	⑧通勤時や業務時の移動において、鉄道、バス等公共交通機関の利用を推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(44%)	(29%)	(16%)	(8%)	(1%)	(2%)	(100%)	A		
	⑨霰が関地域において、毎月第一月曜日は、公用車の使用を終日自粛するものとし、移動手段は徒歩、自転車又は公共交通機関によるものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(1%)	(2%)	(1%)	(1%)	(1%)	(95%)	(100%)	A		
	⑩タクシー券の適切な管理の一層の徹底を図り、不要不急のタクシー利用を抑制している。	加重平均タイプ (構成比)	(49%)	(2%)	(0%)	(0%)	(1%)	(48%)	(100%)	A		
	⑪乗庁者に対しても低公害車の優先利用、自動車利用の抑制や効率化を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(9%)	(31%)	(45%)	(2%)	(4%)	(100%)	A		
	2) 公用車の台数の見直し	①使用実態を精査し、公用車台数の見直しを行い、その削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(56%)	(25%)	(4%)	(6%)	(3%)	(6%)	C	台数	サンプル数
	(3) 自転車の活用	1) 「霰が関自転車利用システム」(平成11年2月)のさらなる活用など、霰ヶ関及び地方支分部局等の所在地における自転車の共同利用を一層推進している。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(3%)	(3%)	(13%)	(2%)	(71%)	(100%)	A	2,358 台

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計										
(4) エネルギー消費効率の高い機器の導入	①パソコン、ワープロ、コピー機等のOA機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比)	(39%)	(37%)	(10%)	(3%)	(5%)	(6%)	B									
	②電気冷蔵庫、ルームエアコン等の家電製品について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比)	(33%)	(35%)	(15%)	(7%)	(3%)	(6%)	B									
	③蛍光灯等の照明器具等の機器について、旧型のエネルギーを多く消費するものの廃止又は買換えを計画的、重点的に進め、買換えに当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択している。	加重平均タイプ (構成比)	(32%)	(41%)	(15%)	(6%)	(2%)	(4%)	B									
	④省エネルギー型の照明ランプを導入している。	<直管型照明器具> 1) Hf型蛍光灯	加重平均タイプ (構成比)							B	導入(残存)割合	0%	~30%	~50%	~80%	~100%未済	100%	計
		<直管型照明器具> 2) LED	加重平均タイプ (構成比)							B	(13%)	(19%)	(13%)	(20%)	(21%)	(14%)	(100%)	
		<直管型照明器具> 3) Hf型以外のインバータ付蛍光灯	加重平均タイプ (構成比)							B	(51%)	(43%)	(3%)	(3%)	(0%)	(0%)	(100%)	
		<ダウンライト> 4) 電球型ツイン蛍光灯	加重平均タイプ (構成比)							B	(54%)	(29%)	(5%)	(6%)	(3%)	(4%)	(100%)	
		<ダウンライト> 5) LED電球	加重平均タイプ (構成比)							B	(41%)	(31%)	(6%)	(5%)	(10%)	(7%)	(100%)	
		<ダウンライト> 6) 自然電球(注:残存割合)	加重平均タイプ (構成比)							B	(62%)	(31%)	(3%)	(2%)	(1%)	(2%)	(100%)	
		<屋外照明> 7) 水銀灯(注:残存割合)	加重平均タイプ (構成比)							B	(46%)	(32%)	(4%)	(8%)	(4%)	(5%)	(100%)	
<屋外照明> 8) メタルハライドランプ		加重平均タイプ (構成比)							B	(37%)	(27%)	(6%)	(7%)	(7%)	(15%)	(100%)		
<屋外照明> 9) LED		加重平均タイプ (構成比)							B	(64%)	(18%)	(4%)	(3%)	(5%)	(5%)	(100%)		
⑤上記機器について、省エネルギーモード設定の適用率により、使用面での改善を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(28%)	(39%)	(14%)	(6%)	(7%)	(7%)	B	(76%)	(17%)	(3%)	(3%)	(0%)	(0%)	(100%)			
⑥節水機器等の導入等	加重平均タイプ (構成比)	(16%)	(19%)	(21%)	(19%)	(7%)	(19%)	B										
(5) 用紙類の使用量の削減	1) コピー用紙、事務用箋、伝票等の用紙類の年間使用量について、各省庁の部局単位など適切な単位で把握し、管理し、削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(44%)	(44%)	(7%)	(2%)	(2%)	(1%)	A									
	2) 会議用資料や事務手続の一層の簡素化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(53%)	(9%)	(0%)	(1%)	(0%)	A									
	3) 各種報告書類の大きさ等の規格の統一化を進め、また、そのページ数や部数についても必要最小限の量となるよう見直しを図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(55%)	(7%)	(1%)	(2%)	(0%)	A									
	4) 両面印刷・両面コピーの徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(56%)	(39%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	A									
	5) 使用済み用紙の裏紙使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(24%)	(40%)	(29%)	(6%)	(0%)	(0%)	A									
	6) 使用済み封筒の再利用など、封筒使用の合理化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(31%)	(34%)	(29%)	(5%)	(1%)	(0%)	A									
	7) A四判化の徹底による文書の一層のスリム化を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(58%)	(38%)	(2%)	(1%)	(0%)	(0%)	A									
	8) 温室効果ガスの排出削減の観点から、ペーパーレスシステムの早期の確立を図るため、電子メール、庁内LANの活用及び文書・資料の磁気媒体保存等電子メディア等の利用による情報システムの整備を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(42%)	(47%)	(8%)	(1%)	(1%)	(1%)	A									
(6) 再生紙などの再生品や木材の活用	1) 再生紙の使用等	加重平均タイプ (構成比)	(90%)	(9%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	A									
	2) 木材、再生品等の活用	加重平均タイプ (構成比)	(53%)	(22%)	(8%)	(10%)	(4%)	(2%)	A									
	①印刷物については、再生紙を使用し、古紙パルプ配合率を明記するよう努めるとともに、可能な場合においては、市中回収古紙を含む再生紙の使用拡大が図られるような配慮を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(18%)	(20%)	(19%)	(6%)	(22%)	(14%)	A									
	②購入し、使用する文具類、機器類、制服・作業服等の物品について、再生材料から作られたものを使用している。	加重平均タイプ (構成比)	(12%)	(24%)	(12%)	(12%)	(25%)	(15%)	A									
(7) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進等	1) HFCの代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進	加重平均タイプ (構成比)	(37%)	(26%)	(7%)	(4%)	(16%)	(9%)	B									
	②HFCを使用している製品を購入・使用する場合には、地球温暖化への影響のより小さい機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(34%)	(28%)	(7%)	(4%)	(16%)	(11%)	B									
	③エアソール製品を使用する場合には、安全性に配慮し必要不可欠な用途を除いて、代替物質を使用した非フロン系製品の選択・使用を徹底している。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(24%)	(6%)	(4%)	(14%)	(11%)	B									
	2) 電気機械器具からのSF6の回収・破壊等	加重平均タイプ (構成比)	(25%)	(15%)	(4%)	(6%)	(25%)	(25%)	B									
	①庁舎等の公共施設の冷蔵庫、空調機器及び公用車のカーエアコンの購入、交換に当たっては、HFCの代替物質を使用した製品の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(37%)	(26%)	(7%)	(4%)	(16%)	(9%)	B									
	②HFCを使用している製品を購入・使用する場合には、地球温暖化への影響のより小さい機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(34%)	(28%)	(7%)	(4%)	(16%)	(11%)	B									

			よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計	
(8) その他	1) その他温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の選択	①物品の調達に当たっては、温室効果ガスの排出の少ない製品、原材料等の使用が促進されるよう、製品等の仕様等の事前の確認を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(43%)	(34%)	(14%)	(3%)	(6%)	(1%)	A (100%)
		②環境ラベルや製品の環境情報をまとめたデータベースなどの環境物品等に関する情報について、当該情報の適切性に留意しつつ活用し、温室効果ガスの排出の少ない環境物品等の優先的な調達を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(45%)	(34%)	(9%)	(4%)	(6%)	(1%)	A (100%)
		③資源採取から廃棄までの物品のライフサイクル全体についての温室効果ガスの排出の抑制等を考慮した物品の選択を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(35%)	(31%)	(12%)	(7%)	(13%)	(2%)	A (100%)
		④購入、使用する燃料について、現に使用している燃焼設備で利用可能な場合は、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的に少ないものとしている。	加重平均タイプ (構成比)	(19%)	(21%)	(10%)	(12%)	(11%)	(27%)	B (100%)
		⑤燃焼設備の改修に当たっては、バイオマス燃料、都市ガス、LPG等の温室効果ガスの排出の相対的により少ない燃料の使用が可能となるよう適切な対応を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(12%)	(13%)	(10%)	(10%)	(14%)	(41%)	B (100%)
		⑥重油を燃料としている設備の更新に当たっては、可能な場合、重油に比べ温室効果ガスの排出の相対的に少ない燃料に変更している。	加重平均タイプ (構成比)	(11%)	(7%)	(6%)	(8%)	(10%)	(58%)	B (100%)
	2) 製品等の長期使用等	①容器包装を利用する場合にあっては、簡略なものとし、当該容器包装の再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(23%)	(26%)	(9%)	(8%)	(3%)	(31%)	A (100%)
		②詰め替え可能な洗剤、文具等を使用している。	加重平均タイプ (構成比)	(63%)	(32%)	(4%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
		③弁当及び飲料容器について、リターナブル容器で販売されるものの購入を進めるとともに、適正な回収ルートを設け、再使用を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(16%)	(15%)	(9%)	(5%)	(5%)	(50%)	A (100%)
		④庁舎内の売店等におけるレジ袋の使用や使い捨ての容器包装による販売の自粛を呼び掛けている。	加重平均タイプ (構成比)	(5%)	(8%)	(6%)	(11%)	(5%)	(64%)	A (100%)
		⑤机等の事務用品の不具合、更新を予定していない電気製品等の故障の際には、それらの修繕に努め、再使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(69%)	(27%)	(2%)	(0%)	(1%)	(1%)	A (100%)
		⑥部品の交換修理が可能な製品、保守・修理サービス期間の長い製品の使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(58%)	(32%)	(4%)	(2%)	(3%)	(1%)	A (100%)
	3) エネルギーを多く消費する自動販売機の設置等の見直し	①庁舎内の自動販売機の設置実態の精査を行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(38%)	(24%)	(7%)	(6%)	(4%)	(20%)	B (100%)
		②庁舎内の自動販売機のエネルギー消費のより少ない機種やオゾン層破壊物質及びHFCを使用しない機器への変更を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(31%)	(18%)	(10%)	(11%)	(10%)	(19%)	B (100%)
		③庁舎内の自動販売機の設置台数の減少など適正な配置を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(39%)	(20%)	(9%)	(8%)	(4%)	(20%)	B (100%)
		④コンビニエンスストアなど庁舎内の売店等における営業時間の短縮など省エネルギー化を促している。	加重平均タイプ (構成比)	(12%)	(11%)	(4%)	(7%)	(1%)	(64%)	B (100%)
	4) 購入時の過剰包装の見直し	①簡略に包装された商品の選択、購入、また、リサイクルの仕組みが確立している包装材を用いているものの積極的選択を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(18%)	(31%)	(25%)	(7%)	(7%)	(13%)	A (100%)
	5) メタン(CH ₄)及び二酸化二窒素(N ₂ O)の排出の抑制	①エネルギー供給設備の適正な運転管理を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(44%)	(19%)	(2%)	(0%)	(7%)	(29%)	B (100%)
		②庁舎から排出される生ごみ等については、極力、直接埋立の方法により処理しないよう、分別や再生利用、適正処理を実施するとともに、廃棄物処理業者に対し発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(49%)	(17%)	(5%)	(6%)	(5%)	(18%)	A (100%)
		③水田における水管理方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(1%)	(0%)	(1%)	(0%)	(98%)	F (100%)
		④ほ場における施肥方法の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(2%)	(0%)	(1%)	(1%)	(96%)	F (100%)
		⑤家畜の飼養管理技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(1%)	(0%)	(1%)	(0%)	(99%)	F (100%)
		⑥家畜排せつ物の適正処理や循環資源としての利用のための技術の開発に関する研究を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(1%)	(0%)	(1%)	(1%)	(98%)	F (100%)
		⑦笑気ガス(麻酔剤)の漏出防止等を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(1%)	(98%)	F (100%)

2.2 建築物の建築、管理等に当たっての配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計			
(1) 建築物の建築における省エネルギー対策の徹底	1) 建築物を建築する際には、省エネルギー対策を徹底し、温室効果ガスの排出の抑制に配慮したものととして整備している。	加重平均タイプ (構成比) (16%)	(17%)	(5%)	(1%)	(7%)	(55%)	B (100%)			
	(2) 既存の建築物における省エネルギー対策の徹底	1) 既存の建築物においてエネルギーの使用状況等省エネルギーに係る診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (11%)	(18%)	(16%)	(42%)	(7%)	(6%)	B (100%)		
		2) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、設備・機器の導入、設備等改修を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(31%)	(25%)	(17%)	(5%)	(8%)	B (100%)		
		3) さらにエネルギーの使用の合理化が図られるよう、可能な限り重点的に、運用改善を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(39%)	(20%)	(9%)	(5%)	(5%)	B (100%)	導入数	サンプル数
		4) 既存の建築物における簡易ESCO診断を実施している。	加重平均タイプ (構成比) (2%)	(1%)	(3%)	(74%)	(9%)	(10%)	B (100%)	270	109
5) <中央官庁庁舎のみ回答> 簡易ESCO診断結果に基づく省エネ改修を実施している。	診断未実施 加重平均タイプ (構成比) -	-	-	-	-	-	-	計			
(3) 温室効果ガスの排出の抑制等に資する建設資材等の選択	1) 建設資材については、再生された又は再生できるものをできる限り使用するとともに、コンクリート塊等の建設廃材、スラグ、廃ガラス等を路盤材、タイル等の原材料の一部として再生利用を図り、また支障のない限り混合セメントの利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (11%)	(19%)	(10%)	(6%)	(19%)	(34%)	B (100%)			
	2) 断熱性能向上のため、屋根、外壁等への断熱材の使用や、断熱サッシ・ドア等の断熱性の高い建具の使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(19%)	(18%)	(10%)	(17%)	(24%)	B (100%)			
	3) 建築物の断熱性能に大きな影響を及ぼす窓について、複層ガラスや二重窓、遮光フィルム、窓の外部のひさしやブラインドシャッターの導入など、断熱性能の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (25%)	(33%)	(15%)	(5%)	(5%)	(17%)	B (100%)			
	4) 建築物の建築等に当たっては支障のない限り再生産可能な資源である木材の利用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (6%)	(9%)	(14%)	(13%)	(15%)	(42%)	B (100%)			
	5) 安全性、経済性、エネルギー効率、断熱性能等に留意しつつ、利用可能である場合には、HFCを使用しない建設資材の利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(9%)	(7%)	(9%)	(25%)	(36%)	B (100%)			
	6) 損失の少ない受電用変圧器の使用を促進する等設備におけるエネルギー損失の低減を促進している。	加重平均タイプ (構成比) (16%)	(15%)	(11%)	(15%)	(18%)	(24%)	B (100%)			
	7) 電力負荷平準化に資する蓄熱システム等の導入を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(8%)	(9%)	(40%)	(12%)	(28%)	B (100%)	導入数	サンプル数	
(4) 温室効果ガスの排出の少ない空調設備の導入等	1) 空調設備について、温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図り、また既存の空調設備についても、その更新時に温室効果ガスの排出の少ない機器の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (19%)	(11%)	(3%)	(26%)	(14%)	(27%)	B (100%)	過去1年間の新規設置施設数	151	103
	2) 庁舎に高効率空調機を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (13%)	(20%)	(17%)	(22%)	(17%)	(12%)	B (100%)	過去1年間に更新した施設数	293	178
	3) 冷却性能の低下等の異常が認められた場合、冷媒の漏洩の可能性があるため、速やかに補修その他の必要な措置を講じている。	加重平均タイプ (構成比) (45%)	(29%)	(3%)	(3%)	(6%)	(14%)	B (100%)			
(5) 冷暖房の適正な温度管理	1) 庁舎内における冷暖房温度の適正管理（冷房の場合は28度程度、暖房の場合は19度程度）を一層徹底するよう空調設備の適正運転を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (78%)	(18%)	(2%)	(0%)	(0%)	(1%)	B (100%)			
	2) コンピューター室の冷房については、コンピューター性能が確保できる範囲内で可能な限り設定温度を上げる等の適正な運用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (69%)	(16%)	(3%)	(1%)	(1%)	(10%)	B (100%)	導入数	サンプル数	
(6) 新エネルギーの有効利用	1) 庁舎や公務員宿舎に燃料電池を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(0%)	(0%)	(81%)	(3%)	(16%)	B (100%)	導入施設数	16	10
	2) 庁舎や公務員宿舎に太陽熱利用システムを可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (4%)	(3%)	(12%)	(64%)	(3%)	(15%)	B (100%)	導入施設数	313	196
	3) 庁舎や公務員宿舎に木質バイオマス燃料を使用する暖房器具やボイラー等を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(0%)	(1%)	(76%)	(5%)	(18%)	B (100%)	導入施設数	50	18
	4) 建築物の立地する地域において、地域冷暖房等の事業が計画されている場合には、参加するよう図っている。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(0%)	(1%)	(31%)	(11%)	(56%)	B (100%)	導入施設数	49	32
	5) 建築物の規模・用途等を検討し、コージェネレーションシステム、廃熱利用等のエネルギー使用の合理化が図られる設備の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(2%)	(0%)	(65%)	(8%)	(24%)	B (100%)	導入施設数	34	16
(7) 水の有効利用	1) 建築物等における雨水の適切な利用が可能な場合は、雨水の貯留タンク等の雨水利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (8%)	(4%)	(7%)	(55%)	(3%)	(23%)	B (100%)			
	2) 建築物から排出される排水の適切な再利用が可能な場合は、排水再利用設備の導入について、建築物の規模・用途に応じて検討し、設置している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(5%)	(3%)	(57%)	(4%)	(27%)	B (100%)			
	3) 給水装置等の末端に、必要に応じて、感知式の洗浄弁・自動水栓等節水に有効な器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (27%)	(31%)	(11%)	(20%)	(4%)	(6%)	B (100%)			
	4) 排水再利用・雨水利用設備等の日常の管理の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (10%)	(8%)	(5%)	(44%)	(5%)	(28%)	B (100%)			

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計		
(8) 太陽光発電の導入及び建物の緑化の整備要領	1) 太陽光発電システム導入状況	表5参照								
	2) 建築物の外壁面の緑化、屋上緑化の実施	表5参照								
	3) 太陽光発電の導入及び建物の緑化に当たっては、施策の効果を有効に発揮できるよう整備するとともに、国民への施策の周知についても考慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(10%)	(10%)	(16%)	(24%)	(5%)	(35%)	B (100%)	
	4) 太陽光発電の導入については、発電電力量等を表示するなど、効果についての説明が可能となるよう配慮して整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(17%)	(12%)	(7%)	(22%)	(2%)	(41%)	B (100%)	
	5) 建物の緑化については、建物の低層部分への整備を主として行っている。	加重平均タイプ (構成比)	(5%)	(6%)	(12%)	(32%)	(4%)	(41%)	B (100%)	
	6) 既存庁舎へ整備する場合は、構造体の耐震安全性、積載荷重、整備後のメンテナンス等を考慮している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(6%)	(5%)	(15%)	(7%)	(52%)	B (100%)	
(9) その他	1) 温室効果ガスの排出の少ない施工の実施	①建築物の建築等に当たっては支障のない限りエネルギー消費量の少ない建設機械を使用するよう発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(18%)	(11%)	(8%)	(16%)	(10%)	(37%)	B (100%)
		②合板型枠については、一層の効率的・合理的利用や使用削減など施工を合理化する工法の選択を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(12%)	(9%)	(8%)	(16%)	(13%)	(41%)	B (100%)
		③出入車輛から排出される温室効果ガスの抑制を発注者として促している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(11%)	(13%)	(25%)	(10%)	(28%)	B (100%)
		④建設業に係る指定副産物の再生利用を促進している。	加重平均タイプ (構成比)	(20%)	(11%)	(7%)	(14%)	(13%)	(36%)	B (100%)
		⑤建設業に係る指定副産物の新規用途の開発に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(9%)	(6%)	(6%)	(21%)	(16%)	(42%)	B (100%)
		⑥建設業者による建設廃棄物等の適正処理を発注者として確認している。	加重平均タイプ (構成比)	(41%)	(14%)	(3%)	(4%)	(8%)	(30%)	B (100%)
	2) 建築物の建築等に当たってのその他の環境配慮の実施	①庁舎等の敷地について植栽を施し、緑化を推進するとともに、保水性舗装や散水の実施に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(20%)	(32%)	(21%)	(13%)	(3%)	(12%)	B (100%)
		②樹木の剪定した枝や落葉等は、再生利用し、廃棄物としての排出を削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(7%)	(11%)	(19%)	(46%)	(6%)	(11%)	B (100%)
		③休閑地については緑化に努めるなど適正な維持管理を図り、ごみの不法投棄を防いでいる。	加重平均タイプ (構成比)	(12%)	(14%)	(6%)	(12%)	(3%)	(53%)	B (100%)
		④定格出力が大きく負荷の変動がある動力装置について、インバータ装置の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(20%)	(12%)	(12%)	(19%)	(23%)	B (100%)
		⑤エレベーターの運転の高度制御を実施している。	加重平均タイプ (構成比)	(14%)	(14%)	(7%)	(22%)	(10%)	(33%)	B (100%)
		⑥省エネルギー型の照明器具を設置している。	加重平均タイプ (構成比)	(27%)	(38%)	(18%)	(7%)	(2%)	(7%)	B (100%)
		⑦空調の自動制御設備について、規模・用途に応じて検討、整備している。	加重平均タイプ (構成比)	(27%)	(27%)	(13%)	(12%)	(7%)	(14%)	B (100%)
		⑧可能な限り反射板の取り付けにより照明の照度の向上に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(17%)	(23%)	(19%)	(27%)	(5%)	(10%)	B (100%)
		⑨屋外照明器具の設置に当たっては、上方光束が小さく省エネルギー性の高い適切な照明機器を選定している。	加重平均タイプ (構成比)	(17%)	(21%)	(18%)	(15%)	(12%)	(17%)	B (100%)
		⑩建築物の建築等の設計者が、温室効果ガスの排出抑制技術やノウハウに秀でた者であるかどうかを考慮するなど、技術的能力の審査に基づく選定方法の採用に努め、環境への配慮を重視した企画の提案などの採用を進めている。	加重平均タイプ (構成比)	(5%)	(7%)	(9%)	(25%)	(16%)	(38%)	B (100%)
3) 施設や機器の効率的な運用に資する設備の導入	①最大使用電力を設定し、使用電力に応じて警報の発生や一部電力の遮断（防災上必要な部分を除く。）などを行う電力のデマンド監視装置等の導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(29%)	(18%)	(12%)	(28%)	(6%)	(7%)	B (100%)	
	②機器の効率的な運用に資するため、機械室の換気運転の室温に応じた制御を可能とする温度センサーや、空調の効率低下を防ぐための室外機への遮光ネットなどの導入を図っている。	加重平均タイプ (構成比)	(7%)	(19%)	(22%)	(37%)	(7%)	(8%)	B (100%)	
4) 新しい技術の率先的導入	①民間での導入実績が必ずしも多くない新たな技術を用いた設備等であっても、高いエネルギー効率や優れた温室効果ガス排出抑制効果等を確認できる技術を用いた設備等については、率先的導入に努めている。	加重平均タイプ (構成比)	(1%)	(3%)	(13%)	(56%)	(10%)	(17%)	B (100%)	

2.3 その他の事務・事業にあたっての温室効果ガスの排出の抑制等への配慮

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計	
(1) エネルギー使用量の抑制	2) 庁舎における節水等の推進	①OA機器、家電製品及び照明については、スイッチの適正管理等エネルギー使用量を抑制するよう適切に使用している。	加重平均タイプ (構成比) (62%)	(35%)	(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		②夏季における執務室での服装について、暑さをしのぎやすい軽装、いわゆる「クールビズ」を励行する。また、冬季における執務室の服装について、快適に過ごせるよう適切な服装、いわゆる「ウォーム・ビズ」を励行している。	加重平均タイプ (構成比) (89%)	(8%)	(0%)	(0%)	(0%)	(2%)	A (100%)
		③冷暖房中の窓、出入口の開放禁止を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (72%)	(22%)	(6%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		④発熱の大きいOA機器類の配置を工夫している。	加重平均タイプ (構成比) (31%)	(34%)	(24%)	(8%)	(2%)	(0%)	B (100%)
		⑤深夜残業のための点灯時間の縮減及び帰宅時のタクシー利用の削減のため、並びに職員の福利厚生の上昇に係る要請への対応ともあいまって、水曜日の定時退庁の一層の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (51%)	(36%)	(7%)	(2%)	(0%)	(3%)	A (100%)
		⑥職員の福利厚生の上昇に係る要請への対応ともあいまって、有給休暇の計画的消化の一層の徹底、事務の見直しにより、夜間残業の削減を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (39%)	(48%)	(10%)	(1%)	(1%)	(0%)	A (100%)
		⑦昼休みは、業務上特に照明が必要な箇所を除き消灯を図り、また夜間における照明も、業務上必要最小限の範囲で点灯することとし、それ以外は消灯を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (79%)	(20%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	B (100%)
		⑧トイレ、廊下、階段等での自然光の活用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (48%)	(35%)	(10%)	(3%)	(0%)	(3%)	B (100%)
		⑨直近階への移動の際の階段利用、利用実態に応じたエレベーターの間引き運転を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (37%)	(26%)	(5%)	(4%)	(1%)	(27%)	B (100%)
		⑩給湯器へのエコマイザーの導入等ガスコンロ、ガス湯沸器等の給湯機器の効率的な使用を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (10%)	(14%)	(11%)	(42%)	(10%)	(13%)	B (100%)
		⑪庁舎に、施設規模等に応じてCO2冷媒ヒートポンプ給湯器等の高効率給湯器を可能な限り幅広く導入している。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(3%)	(8%)	(55%)	(10%)	(22%)	B (100%)
		⑫冷蔵庫の効率的な使用を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (41%)	(37%)	(11%)	(6%)	(4%)	(1%)	B (100%)
		⑬庁舎の使用電力購入に際して、省CO2化の要素を考慮した購入方式を導入している。	加重平均タイプ (構成比) (37%)	(20%)	(5%)	(18%)	(12%)	(9%)	B (100%)
		⑭照明の点灯時間の縮減など節電のための取組の管理を徹底するため、電力使用量のチェックシートの導入等を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (21%)	(19%)	(13%)	(44%)	(1%)	(2%)	B (100%)
		⑮<コージェネレーションシステムを導入している場合> 停止時間中の電力購入量の増加と燃料使用量の減少による温室効果ガスの排出量が最小となるよう運用時間を適切なものとしている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(2%)	(2%)	(7%)	(7%)	(80%)	B (100%)
	2) 庁舎における節水等の推進	①家庭と同様の簡便な手法を利用したトイレ洗浄水の節水を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(13%)	(13%)	(49%)	(4%)	(8%)	B (100%)
		②必要に応じ、トイレに流水音発生器を設置している。	加重平均タイプ (構成比) (30%)	(18%)	(12%)	(34%)	(0%)	(5%)	B (100%)
		③水栓には、必要に応じて節水コマを取り付け、さらに必要に応じ、水栓での水道水圧を低めに設定している。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(23%)	(14%)	(30%)	(6%)	(4%)	B (100%)
		④水漏れ点検の徹底を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (37%)	(36%)	(15%)	(7%)	(2%)	(3%)	B (100%)
		⑤公用車の洗車方法について、回数の削減、バケツの利用等の改善を極力図っている。	加重平均タイプ (構成比) (23%)	(35%)	(24%)	(7%)	(5%)	(6%)	C (100%)
⑥必要に応じ、食器洗い機を導入している。		加重平均タイプ (構成比) (16%)	(9%)	(4%)	(40%)	(0%)	(30%)	B (100%)	

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(2) ごみの分別	1) 事務室段階での廃プラスチック類等の分別回収を徹底している。	加重平均タイプ (構成比) (60%)	(29%)	(6%)	(4%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	2) 分別回収ボックスを十分な数で執務室内に適切に配置している。	加重平均タイプ (構成比) (48%)	(35%)	(9%)	(8%)	(0%)	(1%)	A (100%)
	3) 個人用のごみ箱を順次減らしている。	加重平均タイプ (構成比) (20%)	(15%)	(30%)	(33%)	(2%)	(0%)	A (100%)
	4) 不要になった用紙は、クリップ、バインダー等の器具を外して分別回収するよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (54%)	(41%)	(3%)	(2%)	(0%)	(0%)	A (100%)
(3) 廃棄物の減量	1) 使い捨て製品の使用や購入の抑制を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (44%)	(41%)	(10%)	(2%)	(2%)	(1%)	A (100%)
	2) リサイクルルートの確保等を内容とする各庁舎ごとのリサイクル計画を策定するとともに、実施のための責任者を指名している。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(16%)	(11%)	(60%)	(3%)	(5%)	A (100%)
	3) シュレッダーの使用は秘密文書の廃棄の場合のみに制限している。	加重平均タイプ (構成比) (26%)	(44%)	(22%)	(9%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	4) コピー機、プリンターなどのトナーカートリッジの回収と再使用を進めている。	加重平均タイプ (構成比) (85%)	(14%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	A (100%)
	5) 厨房を使用する職員等へ呼びかけ、庁舎にある厨房施設から排水中に混入する生ごみの量を抑制している。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(13%)	(4%)	(6%)	(3%)	(60%)	A (100%)
	6) 食べ残し、食品残渣などの有機物質について、再生利用や熱回収を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(2%)	(4%)	(39%)	(5%)	(46%)	A (100%)
	7) 施設の所在する地域で廃棄物の交換の仕組みが設けられており、これに参加できる場合は、廃棄物の交換に積極的に協力している。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(1%)	(1%)	(13%)	(11%)	(68%)	A (100%)
	8) 廃棄するOA機器及び家電製品並びに使用を廃止する車が廃棄物として処理される場合には、適正に処理されるよう努めている。	加重平均タイプ (構成比) (80%)	(14%)	(1%)	(1%)	(1%)	(3%)	A (100%)
	9) 物品の在庫管理を徹底し、期限切れ廃棄等の防止に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (62%)	(31%)	(2%)	(1%)	(1%)	(3%)	A (100%)
(4) 森林の整備・保全の推進	1) 植林、保育、間伐等森林の整備や管理・保全の適切な推進を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (4%)	(5%)	(0%)	(2%)	(2%)	(86%)	A (100%)
(5) 政府主催等のイベントの実施に伴う温室効果ガスの排出等の削減	1) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、会場の冷暖房の温度設定の適正化、参加者への公共交通機関の利用の奨励など温室効果ガスの排出削減に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (14%)	(14%)	(4%)	(5%)	(4%)	(58%)	A (100%)
	2) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、ごみの分別、ごみの持ち込みの自粛・持ち帰りの奨励など廃棄物の減量化に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (12%)	(15%)	(5%)	(6%)	(4%)	(59%)	A (100%)
	3) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、パンフレット等に再生紙を使用するなどの取組を可能な限	加重平均タイプ (構成比) (17%)	(14%)	(3%)	(3%)	(5%)	(58%)	A (100%)
	4) 政府が主催するイベントの実施に当たっては、イベントを民間に委託して行う際には、可能な場合にはグリーン電力の活用に努めている。	加重平均タイプ (構成比) (2%)	(2%)	(3%)	(10%)	(10%)	(73%)	A (100%)
	5) 政府が後援等をする民間のイベントについても、上記取組が行われるよう促している。	加重平均タイプ (構成比) (2%)	(3%)	(5%)	(11%)	(11%)	(67%)	A (100%)

2.4 職員に対する研修等

		よく実施されている	かなり実施されている	あまり実施されていない	実施されていない	わからない	該当しない	計
(1) 職員に対する地球温暖化対策に関する研修の機会提供	1) 地球温暖化対策に関する研修を計画的に推進している。	加重平均タイプ (構成比) (15%)	(11%)	(24%)	(44%)	(2%)	(4%)	A (100%)
	2) 庁内誌、パンフレット、庁内LAN等により、再生紙等の名刺への活用、計画されている地球温暖化対策に関する活動や研修など、職員が参加できる地球温暖化対策に関する活動に対し、必要な情報提供を行っている。	加重平均タイプ (構成比) (22%)	(21%)	(25%)	(26%)	(2%)	(3%)	A (100%)
	3) 地球温暖化対策に関するシンポジウム、研修会への職員の積極的な参加が図られるよう便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(11%)	(21%)	(55%)	(3%)	(7%)	A (100%)
	4) 途上国からの地球温暖化対策に関する研修生等に対し積極的に対応している。	加重平均タイプ (構成比) (0%)	(0%)	(3%)	(32%)	(2%)	(62%)	A (100%)
(2) 地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加の奨励	1) 国が主催する環境関係の諸行事において、地球温暖化対策に関する活動への職員の積極的な参加に便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (3%)	(9%)	(20%)	(55%)	(5%)	(9%)	A (100%)
	2) 希望する職員が地球温暖化対策の推進に関する活動に参加できるよう、休暇を取りやすい環境づくりを一層進める等、必要な便宜を図っている。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(10%)	(18%)	(51%)	(7%)	(8%)	A (100%)
	3) 職員に、いわゆる「環境家計簿」による電気、ガス等の温室効果ガスの排出の原因となる活動量の自己管理の実施を奨励している。	加重平均タイプ (構成比) (1%)	(1%)	(26%)	(65%)	(4%)	(3%)	A (100%)
(3) その他	1) 昼休みや定時退庁日における勤務時間終了後の一斉消灯など「省CO2行動ルール」を策定し、実施している。	加重平均タイプ (構成比) (43%)	(29%)	(11%)	(16%)	(1%)	(1%)	A (100%)
	2) 職員から省CO2化に資するアイデア(エコ・アイデア)を募集し、効果的なものを実行に移している。	加重平均タイプ (構成比) (5%)	(8%)	(20%)	(63%)	(2%)	(1%)	A (100%)